EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EB-G6750WU
EB-G6550WU
EB-G6350
EB-G6250W
EB-G6050W

マニュアル中の表示の意味

- **安全に関する表示**

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。 内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- **一般情報に関する表示**

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
⏩	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。 ☛「用語解説」p.174
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
［メニュー名］	環境設定メニューの項目を示しています。 例： ［画質調整］から［明るさ］を選びます。 ［画質調整］-［明るさ］

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

各部の名称と働き 8
- 前面/上面 8
- 背面 9
- インターフェイス 9
- 底面 10
- 操作パネル 11
- リモコン 12
  - リモコンの電池交換 14
  - リモコンの操作可能範囲 15
- 投写レンズユニットの取り付けと取り外し 16
  - 取り付け方 16
  - 取り外し方 17

準備

設置する 20
- 設置条件 20
  - 映像の向き（設置モード）を切り替える 21
- スクリーン設定 22
  - 画面内の映像の位置を調整する 22
- テストパターンを表示する 23
- 投写映像の位置調整(レンズシフト) 24
- 映像のサイズを調整する 25
- ピントのズレを補正する 25
  - 短焦点レンズELPLU01をお使いのとき 25
- 映像の高さを調整する 27
- 水平傾斜を調整する 27
- IDの設定 27
  - プロジェクターIDを設定する 28
  - プロジェクターIDの確認方法 28
  - リモコンIDを設定する 28
  - 時刻の設定 29

接続する 31
- コンピューターの接続 31
- 映像機器の接続 33
- 外部機器の接続 35
- LANケーブルの接続 36
- HDBaseTトランスミッターの接続（EB-G6750WUのみ） 37
- 無線LANユニットの取り付け 38
- ケーブルカバーの取り付け 39
  - 取り付け方 39

基本的な使い方

投写する 41
- 入力信号を自動検出して切り替える（入力検出） 41
- リモコンで目的の映像に切り替える 42
- 音量を調整する 42

投写映像を調整する 43
- 映像のゆがみを補正する 43
  - タテヨコ補正 43
  - Quick Corner 44
  - 弓形補正 45
- 映り具合を選ぶ（カラーモードの選択） 46
- 投写映像のアスペクト比を切り替える 47
  - 切り替え方法 47
- 画質を調整する 50
  - 色相・彩度・明度の調整 50
  - ガンマの調整 50
  - フレーム補間(EB-G6750WU/EB-G6550WUのみ) 51

便利な機能

マルチプロジェクション機能 54
- 投写位置を合わせる 54

ポイント補正 55
カラーモードの確認 56
映像のつなぎ目を補正する（エッジブレンディング） 56
ランプの明るさの調整 56
エッジブレンディングを行う 56
色合わせ(微調整)を行う 58
映像を切り出して表示する（表示倍率変更） 59

投写機能 61

2種類の映像を同時に投写する(2画面) 61
操作方法 61
2画面で投写中の制限事項 63
映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート） 64
映像を停止させる（静止） 64
映像を部分的に拡大する（Eズーム） 65
ユーザーロゴの登録 66

メモリー機能 67

メモリーの登録／呼び出し／削除 67

スケジュール機能 69

スケジュールを登録する 69
設定方法 69
スケジュールを編集する 70

セキュリティー機能 72

利用者を管理する（パスワードプロテクト） 72
パスワードプロテクトの種類 72
パスワードプロテクトの設定方法 72
パスワードの認証 73
操作を制限する 74
操作ボタンロック 74
リモコンボタンロック 75
盗難防止用ロック 75
ワイヤーロックの取り付け方 76

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作 78

機能一覧 79

環境設定メニュー一覧 79
ネットワークメニュー 80
画質調整メニュー 81
映像メニュー 82
設定メニュー 84
拡張設定メニュー 85
ネットワークメニュー 89
ネットワークメニュー操作上のご注意 90
ソフトキーボードの操作 90
基本設定メニュー 91
無線LANメニュー 92
セキュリティーメニュー 94
有線LANメニュー 97
管理者設定メニュー 98
初期化メニュー 101
情報メニュー（表示のみ） 102
初期化メニュー 102

困ったときに

ヘルプの見方 105

故障かなと思ったら 106

インジケーターの見方 106
インジケーターを見てもわからないとき 111
映像に関するトラブル 112
映像が表示されない 112
動画が表示されない 112
自動的に投写が消える 113
この信号は本プロジェクターでは受けられません。と表示される 113
映像信号が入力されていません。と表示される 113

ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ 114
ノイズが入る、乱れる 114
映像が切れる（大きい）、小さい、アスペクトが合っていない、反転している 115
色合いが違う 116
暗い 117
投写開始時のトラブル 117
電源が入らない 117
その他のトラブル 118
音が出ない、小さすぎる 118
リモコンで操作できない 119
外部モニターに表示されない 120
メッセージやメニューの言語を変更したい 120
無線LANの認証設定ができない 120
プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない 120
時刻を保持する電池残量が低下しています。と表示される 121
Webブラウザーを使って設定を変更できない 121

Event IDについて 122

メンテナンス

各部の掃除 125
本機の掃除 125
レンズの掃除 125
エアフィルターの掃除 125
エアフィルターの清掃方法 125

消耗品の交換方法 128
ランプの交換 128
ランプの交換時期 128
ランプの交換方法 129
ランプ点灯時間の初期化 131
エアフィルターの交換 131
エアフィルターの交換時期 131
エアフィルターの交換方法 131

輸送時のご注意 133
近くへの移動 133
輸送する場合 133
梱包の準備 133
梱包と輸送の注意 133

映像のメンテナンス 134
液晶アライメント 134
ユニフォーミティー 135
レンズバランス調整 137

付録

ネットワーク関連機能 142
「ネットワークプロジェクターへの接続」で投写する 142
WPS（Wi-Fi Protected Setup）で無線LANアクセスポイントに接続する 142
接続設定の方法 142
クイックワイヤレス用USBキーの使い方 143

監視と制御 145
EasyMP Monitorについて 145
Message Broadcastingについて 145
Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御） 145
本機の設定 145
Web制御画面を表示する 145
証明書の設定をする 146
セキュアHTTPについての注意 147
サポートする証明書の一覧 147
メール通知機能で異常を通知する 148
異常通知メールの見方 148
SNMPを使って管理する 149
Web Remote画面を表示する 149
ESC/VP21コマンド 150
コマンドリスト 150
ケーブル配線 150
PJLinkについて 151

Crestron RoomView®について 152
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する 152

オプション・消耗品一覧 156

オプション 156
消耗品 156

スクリーンサイズと投写距離 157

EB-G6750WU/EB-G6550WU/EB-G6250W/EB-G6050Wの投写距離表 157
標準レンズ ELPLS06 157
短焦点レンズ ELPLU01 158
リア用短焦点レンズ ELPLR03 159
中焦点レンズ ELPLM04 159
中焦点レンズ ELPLM05 160
長焦点レンズ ELPLL06 161
EB-G6350の投写距離表 162
標準レンズ ELPLS06 162
短焦点レンズ ELPLU01 163
リア用短焦点レンズ ELPLR03 164
中焦点レンズ ELPLM04 164
中焦点レンズ ELPLM05 165
長焦点レンズ ELPLL06 166

対応解像度一覧 168

対応解像度 168
コンピューター映像（アナログRGB） 168
コンポーネントビデオ 168
コンポジットビデオ 168
HDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの入力信号（EB-G6750WU/EB-G6550WU/EB-G6250W/EB-G6050W） 169
HDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの入力信号（EB-G6350） 169

仕様一覧 170

本機仕様 170

外形寸法図 173

用語解説 174

一般のご注意 176

商標と著作権について 176

索引 177

はじめに

ここでは、各部の名称について説明しています。

本書で使用しているイラストはEB-G6750WU（標準レンズELPLS06付き）です。

前面/上面

	名称	働き
①	**排気口**	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 **⚠ 注意** 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。

	名称	働き
②	**フォーカスリング**	映像のピントを合わせます。 ☛「ピントのズレを補正する」p.25
③	**ズームリング**	映像のサイズを調整します。 ☛「映像のサイズを調整する」p.25
④	**レンズユニット取り外しボタン**	レンズユニット交換時に、このボタンを押してレンズユニットを取り外します。 ☛「投写レンズユニットの取り付けと取り外し」p.16
⑤	**リモコン受光部**	リモコン信号を受信します。
⑥	**状態インジケーター**	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。 ☛「インジケーターの見方」p.106
⑦	**無線LAN インジケーター**	オプションの無線LANユニットのアクセス状況をお知らせします。 ☛「オプション」p.156
⑧	**吸気口（エアフィルター）**	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125
⑨	**スピーカー**	音声を出力します。
⑩	**エアフィルターカバー操作つまみ**	エアフィルターカバーを開くときに操作します。 ☛「エアフィルターの交換」p.131
⑪	**ケーブルカバー**	ケーブルを接続した背面のインターフェイス部のカバーです。 ☛「ケーブルカバーの取り付け」p.39
⑫	**上下レンズシフトダイヤル**	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。 ☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.24
⑬	**レンズシフトダイヤルロック**	レンズシフトダイヤルの動作をロック/解除します。
⑭	**左右レンズシフトダイヤル**	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。 ☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.24

	名称	働き
⑮	ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛「ランプの交換」p.128

背面

	名称	働き
❶	インターフェイス	☛「インターフェイス」p.9
❷	セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。 ☛「盗難防止用ロック」p.75
❸	電源端子	電源ケーブルを接続します。
❹	操作パネル	☛「操作パネル」p.11
❺	ケーブルホルダー	HDMIケーブルが重さで抜けないように、同梱品のケーブルクランプを差し込みます。 ☛『かんたん操作ガイド』

インターフェイス

	名称	働き
❶	Audio1入力端子	Computer入力端子に接続した機器の音声を入力します。
❷	Computer入力端子	コンピューターのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
❸	BNC入力端子	コンピューターのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
❹	Audio2入力端子	BNC入力端子に接続した機器の音声を入力します。
❺	RS-232C端子	コンピューターから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。 ☛「ESC/VP21コマンド」p.150
❻	Remote端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。リモコンケーブルをこのRemote端子に差し込むと本機のリモコン受光部は機能しなくなります。 ☛「オプション」p.156
❼	Audio-L/R入力端子	Video入力端子またはS-Video入力端子に接続した機器の音声を入力します。

名称		働き
⑧	Video入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
⑨	S-Video入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
⑩	Audio Out端子	現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。
⑪	Monitor Out端子	外部モニターと接続し、Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているコンピューターのアナログRGB信号を出力します。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
⑫	DisplayPort入力端子	DisplayPortに対応したコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。
⑬	HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。
⑭	Audio3入力端子	DisplayPort入力端子またはHDMI入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑮	HDBaseT 端 子（EB-G6750WUのみ）	オプション品のHDBaseTトランスミッターとLANケーブルで接続します。 ☛「HDBaseTトランスミッターの接続（EB-G6750WUのみ）」p.37 ☛「オプション」p.156
⑯	LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑰	Service端子	サービスマンが使用する制御用端子です。通常は使用しません。

底面

名称		働き
❶	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ☛「映像の高さを調整する」p.27
❷	リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛「水平傾斜を調整する」p.27
❸	ケーブルカバー固定ネジ穴	ケーブルカバーを固定するネジの穴です。 ☛「ケーブルカバーの取り付け」p.39

名称		働き
④	セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 ☛「ワイヤーロックの取り付け方」p.76
⑤	天吊り固定部(4箇所)	天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛「設置する」p.20 ☛「オプション」p.156
⑥	レンズユニット取り外しボタン固定ネジ穴	レンズユニットを装着したとき、レンズユニット取り外しボタンを固定するネジの穴です。 ☛「投写レンズユニットの取り付けと取り外し」p.16

操作パネル

名称		働き
①	【⏻】ボタン	電源をオン/オフします。
②	【Source Search】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41
③	【◀】/【🔒】ボタン	• 操作ボタンロック画面を表示して、操作パネルのボタンのロックを設定します。 ☛「操作を制限する」p.74 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 ☛「ヘルプの見方」p.105
④	【↵】ボタン	• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 • Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
⑤	【▼】/【▦】ボタン	• テストパターンを表示します。 ☛「テストパターンを表示する」p.23 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 ☛「ヘルプの見方」p.105
⑥	【▶】/【i】ボタン	• 環境設定メニューの情報メニューを表示します。 ☛「情報メニュー（表示のみ）」p.102 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 ☛「ヘルプの見方」p.105
⑦	【A/V Mute】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64
⑧	【Esc】ボタン	• 実行中の機能を終了します。 • 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78

	名称	働き
⑨	【▲】/【▭】ボタン	• 環境設定メニューの幾何学歪み補正で設定されている画面補正を実行します。 ☛［設定］-［幾何学歪み補正］p.84 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 ☛「ヘルプの見方」p.105
⑩	【Menu】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78

リモコン

	名称	働き
❶	【⏻】ボタン	本機の電源をオンにします。
❷	【⏻】ボタン	本機の電源をオフにします。
❸	入力切り替えボタン	各入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「リモコンで目的の映像に切り替える」p.42 【HDBaseT】ボタンはEB-G6750WUのみ機能します。 【SDI】ボタンは、お使いのプロジェクターでは機能しません。
❹	【自動調整】ボタン	Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置 を最適な状態に自動調整します。
❺	【アスペクト】ボタン	押すたびに、アスペクトモードが切り替わります。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.47
❻	【テストパターン】ボタン	テストパターンを表示します。 ☛「テストパターンを表示する」p.23
❼	【静止】ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」p.64
❽	【メニュー】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78
❾	【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン	• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 • オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、ボタンを押した方向にマウスポインターが移動します。 ☛「オプション」p.156
❿	【↵】ボタン	• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 • オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの左ボタンとして機能します。 ☛「オプション」p.156

	名称	働き
⓫	【2画面】ボタン	2つの入力ソースの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写するか、通常の1画面の投写にするかを切り替えます。 ☛「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」p.61
⓬	【ページ】ボタン 【⇧】【⇩】	ネットワークで接続したコンピューターの映像を投写しているときに、画像ファイルを送り/戻しします。
⓭	【音量】ボタン 【🔈】【🔊】	【🔈】音量を下げます。 【🔊】音量を上げます。 ☛「音量を調整する」p.42
⓮	【ユーザー1】ボタン 【ユーザー2】ボタン 【ユーザー3】ボタン	環境設定メニューの項目のうちよく使われる8項目から任意に項目を選択して、それぞれのボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 ☛「設定メニュー」p.84
⓯	テンキーボタン	• パスワードを入力します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」p.72 • 環境設定メニューの［ネットワーク］で数字を入力します。
⓰	【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「IDの設定」p.27
⓱	【ID】スイッチ	リモコンのID設定の有効(On)/無効(Off)を切り替えるスイッチです。 ☛「IDの設定」p.27
⓲	リモート端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を出力します。 ☛「オプション」p.156 リモコンケーブルをこのリモート端子に差し込むとリモコン発光部は機能しなくなります。

名称		働き
⑲	【ヘルプ】ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛「ヘルプの見方」p.105
⑳	【Num】ボタン	パスワードや数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」p.72
㉑	【Eズーム】ボタン 【⊕】【⊖】	投写サイズを変えずに映像を拡大/縮小します。 ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」p.65
㉒	【初期値】ボタン	環境設定メニューのガイドに[初期値]：リセットと表示されているときに有効です。調整中の設定値を初期値に戻します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78
㉓	【戻る】ボタン	• 実行中の機能を終了します。 • 環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」p.78 • オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの右ボタンとして機能します。 ☛「オプション」p.156
㉔	【A/Vミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64
㉕	【カラーモード】ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☛「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」p.46
㉖	【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41
㉗	【☼】ボタン	リモコン上のボタンが約15秒間光ります。暗がりでリモコンを操作するときに便利です。
㉘	インジケーター	リモコン信号を出力しているときに発光します。

名称		働き
㉙	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

リモコンの電池交換

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形アルカリあるいはマンガン乾電池2本を用意してください。単3形アルカリあるいはマンガン乾電池以外の電池は使用しないでください。

注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

☛『安全にお使いいただくために』

1 **電池カバーを外します。**

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。

2 新しい電池と交換します。

⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(–)を正しく入れてください。

電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

リモコンの操作可能範囲

- リモコンからの操作信号の受信を制限するときは、［リモコン受光部］で設定します。
  ☛［設定］-［リモコン受光部］p.84
- 他のエプソンプロジェクターに添付のリモコンで本機を操作するときは、［リモコン種類］で設定します。
  ☛［拡張設定］-［動作設定］-［リモコン種類］p.85
  ただし、お使いのリモコンにより操作可能範囲は異なります。

投写レンズユニットの取り付けと取り外し

取り付け方

注意

- 本機のレンズ挿入部を上に向けた状態でレンズユニットを装着しないでください。ホコリやゴミが入る原因となります。
- 指定のレンズ以外は使用しないでください。本機で使用できるレンズは、以下でご確認ください。
  ☛「オプション」p.156

1 フォーカスリングを動かなくなるまで時計回りに回します。

2 レンズユニットの白い丸印を上に向けた状態でレンズ装着部にまっすぐ挿入し、突き当たったら時計回りにカチッと音がするまで回します。

レンズユニットのトルクリングを回してズームリングの回転力を調整できます。

❶ しまる
❷ ゆるむ

3 レンズユニットを反時計回りに回してみて、外れないことを確認してください。

4 レンズユニットに同梱のネジでレンズユニット取り外しボタンを固定します。＋ドライバー(#2)を使ってネジを締めます。

レンズユニットの盗難防止のために、必ずネジで固定してください。

注意

- 本機は必ずレンズユニットを装着した状態で保管してください。
  レンズユニットを外した状態で保管すると、本機内部にホコリやゴミが入り投写品質の劣化や故障の原因となります。
- 本機を上向き(35°～150°)、または下向き(-35°～-150°)にしてお使いになる場合は、レンズのトルクリングをしめてください。ただし、強くしめすぎると故障の原因になりますので、ご注意ください。

取り外し方

注意

- レンズユニットは必要がないときは取り外さないでください。本機内部にホコリやゴミが入りこむと投写品質の劣化や故障の原因となります。
- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- レンズシフトを行っているときは、事前にシフト位置を中央に合わせてからレンズユニットを交換してください。
  ☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.24

1 レンズユニット取り外しボタンをネジで固定しているときは、＋ドライバー(#2)を使ってネジを取り外します。

2 レンズユニット取り外しボタンを押したままレンズユニットを反時計回りにカチッと音がするまで回します。

3 レンズユニットが外れますので、まっすぐに引き抜きます。

準備

ここでは、本機の設置方法と投写機器の接続方法について説明します。

設置条件

本機は、天井に取り付ける天吊り設置や机上に設置して投写できます。また、斜め方向にも投写できますので、多様な場所に自由に投写できます。

警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下•転倒によりけがや事故の原因となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛『お問い合わせ先』
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
  天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
  ☛「オプション」p.156
- 天吊り使用時は、本体操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンの操作と動作が一致するように、［方向ボタン反転］をオンに設定します。
  ☛［拡張設定］-［動作設定］-［方向ボタン反転］p.85

本機の設置可能角度は以下のとおりです。

垂直方向：360°設置可能です。

水平方向：リアフットを伸縮できる範囲で傾けられます。

☛「水平傾斜を調整する」p.27

排気口、吸気口と壁の間には50cm以上のスペースが必要です。

本機を並べてお使いになるときは、プロジェクターとプロジェクターの間を50cm以上開けてください。

設置が終了したら、垂直方向の設置角度に合わせて環境設定メニューの［設置角度］を設定してください。

注意
必ず［設置角度］を設定してください。設定しないとランプの交換時期が著しく早まる場合があります。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **［拡張設定］から［設置角度］を選択します。**

3 **【◀】【▶】ボタンでプロジェクターの設置角度を設定します。**

ボタンを押すたびに15°ずつ傾きます。実際の設置角度に近い値に設定してください。

4 **設定が終了したら【▼】ボタンで［設定］を選択し、【↵】ボタンを押します。**

映像の向き（設置モード）を切り替える

映像の向きは環境設定メニューの［設置モード］で切り替えます。

☛ ［拡張設定］-［設置モード］ p.85

フロントを基準にした場合、各設置モードの映像の向きは以下のとおりです。

フロント（初期値）

フロント・天吊り

リア

リア・天吊り

- リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、次のように設定を切り替えることができます。
  フロント↔フロント・天吊り
- 設置状態を変えたときは、［設置角度］の設定をご確認ください。
  ☛ ［拡張設定］-［設置角度］ p.85

スクリーン設定

お使いのスクリーンのアスペクト比に合わせて、スクリーンタイプを設定します。

映像を表示する領域がスクリーンに合うように調整されます。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 **［拡張設定］から［表示設定］を選択します。**

3 **［スクリーン設定］から［スクリーンタイプ］を選びます。**

4 **スクリーンのアスペクト比を、［4:3］、［16:9］、［16:10］から選択します。**

設定値に合わせて背面のテストパターンの形状が変わります。

5 **【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。**

- スクリーンタイプを変更したときは、投写映像のアスペクト比を調整してください。
  ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.47
- アプリケーションソフトEasyMP Network Projection/EasyMP Multi PC Projectionは、必ず同梱のEPSON Projector Software CD-ROMからインストールしてお使いください。古いバージョンでは正しく投写されません。EasyMP Network Projection/EasyMP Multi PC Projectionの最新のバージョンは、以下のWebサイトからもダウンロードできます。
  http://www.epson.jp/download/
- Message Broadcasting（EasyMP Monitorのプラグイン）は本機能に対応していません。

画面内の映像の位置を調整する

スクリーンタイプの設定により画面の枠と映像の間に余白が生じたときは、映像の位置を調整できます。

例：EB-G6750WUで［スクリーンタイプ］が［4:3］の場合

映像を左右に移動できます。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 **［拡張設定］から［表示設定］を選択します。**

3 ［スクリーン設定］から［スクリーン位置］を選びます。

4 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで映像の位置を調整します。

背面のテストパターンで現在の表示位置を確認できます。

5 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。

以下の場合は［スクリーン位置］の調整はできません。
- EB-G6750WU/EB-G6550WU/EB-G6250W/EB-G6050W をお使いで、［スクリーンタイプ］の設定が［16:10］
- EB-G6350をお使いで、［スクリーンタイプ］の設定が［4:3］

テストパターンを表示する

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。

［スクリーンタイプ］の設定に合わせてテストパターンが表示されます。先に［スクリーンタイプ］を設定してください。

☛「スクリーン設定」p.22

1 投写中にリモコンの【テストパターン】ボタンまたは操作パネルの【▦】ボタンを押します。

2 リモコンの【◀】【▶】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押してテストパターンを切り替えます。

リモコンの場合　　操作パネルの場合

テストパターン表示中は、以下の映像調整を行えます。

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
画質調整	カラーモード ☛ p.46
	絶対色温度
	アドバンスト - ガンマ※ ☛ p.50 - RGB - RGBCMY ☛ p.50
	初期化
映像	自動調整
設定	幾何学歪み補正 ☛ p.43

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
拡張設定	マルチプロジェクション - 明るさレベル - エッジブレンディング ☛ p.56 - マルチスクリーン ☛ p.58

※ カスタムガンマ設定は除く

テストパターンを表示中に設定できないメニュー項目の設定や、投写映像の細かい調整は、接続機器からの映像を投写して行ってください。

3 **【戻る】ボタンを押してテストパターンの表示を終了します。**

投写映像の位置調整(レンズシフト)

スクリーンの正面に本機を設置できないときや、映像の位置を調整したいときは、レンズシフトを使い映像の位置を上下左右に移動できます。

1 **レンズシフトダイヤルロックを解除します。**

2 **本体の上下レンズシフトダイヤル、左右レンズシフトダイヤルを回して、投写映像の位置を調整します。**

注意

上下レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。

- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

レンズシフトで映像を移動できる範囲は、以下のとおりです。

※EB-G6350は57%

❶ レンズの中心
❷ レンズシフトを中央に設定したときの投写映像

映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。

3 **調整が終了したら、レンズシフトダイヤルロックをロックします。**

映像のサイズを調整する

ズームリングを回して、投写映像のサイズを調整します。

ピントのズレを補正する

ピントのズレを補正するには、フォーカスリングで調整します。

短焦点レンズELPLU01をお使いのとき

レンズシフトを上下左右いずれかに移動している場合は、以下の手順でピントを調整します。

1 ディストーションリングを動かなくなるまで反時計回りに回します。

2 フォーカスリングで光軸の周りのピントを合わせます。

例：レンズシフトを下方向いっぱいにしているとき

3 ディストーションリングで画面のゆがみを補正します。

ゆがみが補正されるとともに、周囲のピントも調整されます。

4 フォーカスリングで画面全体のピントを合わせます。

光軸の周りのピントが合わない場合は、ディストーションリングを回して微調整します。

短焦点レンズELPLU01をお使いになるときは、台形補正が正しく行われるように、環境設定メニューの［レンズタイプ］を［ELPLU01］に設定してください。

☛［拡張設定］-［動作設定］-［レンズタイプ］p.85

映像の高さを調整する

フロントフットを伸縮して調整します。最大10度まで傾けて、映像の高さを調整できます。

❶ フロントフットを伸ばします。
❷ フロントフットを縮めます。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

水平傾斜を調整する

リアフットを伸縮して本機の水平方向の傾きを調整します。

❶ リアフットを伸ばします。
❷ リアフットを縮めます。

注意
リアフットは着脱式です。約10mm以上伸ばすと外れますので、ご注意ください。

IDの設定

プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用するときに便利です。

- リモコンの操作範囲内にあるプロジェクターのみ、リモコンで操作できます。 ☛「リモコンの操作可能範囲」p.15
- 環境設定メニューの[動作設定]で[リモコン種類]を[簡単]に設定しているときはリモコンID は設定できません。 ☛ p.85
- プロジェクターIDが[オフ]、またはリモコンのIDが**0**のときは、IDは無効になります。

プロジェクターIDを設定する

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 ［拡張設定］から［マルチプロジェクション］を選びます。

3 ［プロジェクターID］を選び、【↵】ボタンを押します。

4 設定したいIDを選び、【↵】ボタンを押します。

5 【メニュー】ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

プロジェクターIDの確認方法

投写中に、【ID】ボタンを押したまま【ヘルプ】ボタンを押します。

ボタンを押すと、投写画面上に現在のプロジェクターIDが表示されます。表示は約3秒で消えます。

リモコンIDを設定する

1 リモコンの【ID】スイッチをOnに設定します。

2 **【ID】ボタンを押したまま、操作するプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。**

☛「プロジェクターIDの確認方法」p.28

リモコン

設定が終了するとリモコンから操作できるプロジェクターが限定されます。

> リモコンIDの設定はリモコンに記憶されます。記憶したID設定は、リモコンの電池交換などで、リモコンからいったん電池を外しても残ります。ただし、電池を取り外した状態で長期間放置すると初期値(ID0)に戻ります。

時刻の設定

本機に時刻を設定します。設定した時刻はスケジュール機能や無線LANの認証で使用します。

☛「スケジュール機能」p.69

> • 本機を購入後初めて電源をオンにしたとき、「時刻を設定しますか？」とメッセージが表示されます。[はい]を選択したときは手順4の画面が表示されます。
> • [パスワードプロテクト]の[時刻/スケジュール保護]を[オン]にしていると、日付や時刻に関する設定の変更はできません。[時刻/スケジュール保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。
> ☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」p.72

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 **[拡張設定]から[動作設定]を選択します。**

3 **[日付＆時刻]を選択し【↵】ボタンを押します。**

4 **日付や時刻に関する設定をします。**

時刻や日付の入力はソフトキーボードで行います。

☛「ソフトキーボードの操作」p.90

日付＆時刻

サブメニュー	機能
日付	今日の日付を設定します
時刻	現在の時刻を設定します。

サブメニュー	機能
時差(UTC)	協定世界時からの時差を設定します。(日本国内：+9:00)
設定	[日付&時刻]の設定内容を反映します。

夏時間設定

サブメニュー	機能
夏時間	夏時間を有効にする([オン])/しない([オフ])を設定します。[夏時間調整(分)]では、標準時間と夏時間の差を調整します。
夏時間開始	夏時間を開始する日時を設定します。
夏時間終了	夏時間を終了する日時を設定します。
設定	[夏時間設定]の設定内容を反映します。

インターネット時刻

サブメニュー	機能
インターネット時刻	[オン]に設定すると、インターネット時刻サーバーへ接続し、時刻を自動的に更新します。
インターネット時刻サーバー	インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力します。
設定	[インターネット時刻]の設定内容を反映します。

設定を変更したときは、必ず[設定]を選択し【↵】ボタンを押してください。

5 **【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。**

接続する機器により、端子名称、位置や向きが異なります。

コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

❶ **同梱のコンピューターケーブルを使用するとき**
コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のComputer入力端子を接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機のAudio1入力端子を接続します。

❷ **市販の5BNCディスプレイケーブルを使用するとき**
コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のBNC入力端子を接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機のAudio2入力端子を接続します。

❸ **市販のHDMIケーブルを使用するとき**
コンピューターのHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。
映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

❹ **市販のDisplayPortケーブルを使用するとき**
コンピューターのDisplayPort端子と本機のDisplayPort入力端子を接続します。
映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

- ［音声出力設定］で出力する音声を切り替えられます。
  ☛ ［拡張設定］-［A/V出力設定］-［音声出力設定］ p.85
- HDMIケーブルまたはDisplayPortケーブルから音声が転送されないときは、市販のオーディオケーブルでAudio3端子に音声を入力します。［HDMI音声出力］または［DisplayPort音声出力］を［音声入力3］に設定してください。
  ☛ ［拡張設定］-［A/V出力設定］-［音声出力設定］-［HDMI音声出力］、［DisplayPort音声出力］ p.85
- 市販のDisplayPortケーブルにはロックがついているものがあります。ケーブルを取り外すときは、ケーブルのコネクター部分にあるボタンを押しながらケーブルを抜いてください。

映像機器の接続

DVDプレーヤーやVHSビデオなどの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

❶ **市販のビデオケーブルを使用するとき**

映像機器のビデオ出力端子と本機のVideo入力端子を接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio-L/R入力端子を接続します。

❷ **市販のS-ビデオケーブルを使用するとき**

映像機器のS-ビデオ出力端子と本機のS-Video入力端子を接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio-L/R入力端子を接続します。

❸ **オプションのコンポーネントビデオケーブル（D-sub/コンポーネント変換）を使用するとき**

☛「オプション」p.156

映像機器のコンポーネント出力端子と本機のComputer入力端子を接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio1入力端子を接続します。

❹ **市販のコンポーネントビデオケーブル（RCA）とBNC/RCAアダプターを使用するとき**

映像機器のコンポーネント出力端子と本機のBNC入力端子（R/Cr/Pr、G/Y、 B/Cb/Pb）を接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio2入力端子を接続します。

❺ **市販のHDMIケーブルを使用するとき**

映像機器のHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。
映像の投写と同時に、映像機器の音声も転送できます。

注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

- ［音声出力設定］で出力する音声を切り替えられます。
  ☛［拡張設定］-［A/V出力設定］-［音声出力設定］p.85
- HDMIケーブルから音声が転送されないときは、市販のオーディオケーブルでAudio3端子に音声を入力します。［HDMI音声出力］を［音声入力3］に設定してください。
  ☛［拡張設定］-［A/V出力設定］-［音声出力設定］-［HDMI音声出力］p.85
- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 市販の2RCA（L・R）/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは、「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

外部機器の接続

外部モニターやスピーカーを接続すると、映像や音声を外部に出力できます。

❶ **映像を外部モニターに出力するとき**
外部モニターに付属のケーブルで、外部モニターと本機のMonitor Out端子を接続します。

❷ **音声を外部スピーカーに出力するとき**
市販のオーディオケーブルで外部スピーカーと本機のAudio Out端子を接続します。

- 本機がスタンバイ状態のときに映像と音声を出力するには、以下の設定をします。
  ［待機モード］を［通信オン］に設定する。
  ☛ ［拡張設定］-［待機モード］ p.85
  ［A/V出力］を［常時］に設定する。
  ☛ ［拡張設定］-［A/V出力設定］-［A/V出力］ p.85
- 外部モニターに出力できる信号は、Computer入力端子またはBNC入力端子から入力されているアナログRGB信号のみです。
- Audio Out端子にオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり、本機の内蔵スピーカーからは音声が出なくなります。

LANケーブルの接続

市販の100BASE-TXまたは10BASE-Tタイプの LANケーブルで、ネットワークハブなどのLAN端子と本機のLAN端子を接続します。

コンピューターとプロジェクターをネットワークで接続して映像を投写したり、プロジェクターの状態を確認したりできます。

誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリー5以上のシールド付きをお使いください。

HDBaseTトランスミッターの接続（EB-G6750WUのみ）

市販の100BASE-TXタイプのLANケーブルで、オプション品のHDBaseTトランスミッターを接続します。

☛「オプション」p.156

- HDBaseTトランスミッターに添付の取扱説明書をよくお読みください。
- LANケーブルはカテゴリー5eまたはカテゴリー6のシールド付きをお使いください。
- LANケーブルを抜き差しするときは、本機とHDBaseTトランスミッターの電源をオフにしてください。
- HDBaseT端子からEthernet通信やシリアル通信、有線リモコン制御をするときは、環境設定メニューの［制御通信］を［オン］にします。
  ☛［拡張設定］-［HDBaseT設定］-［制御通信］p.85
  ［制御通信］を［オン］にすると、本機のLAN端子、RS-232C端子、Remote端子は無効になりますのでご注意ください。

無線LANユニットの取り付け

1 **エアフィルターカバーを開けます。**

エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、フィルターカバーを開けます。

2 **無線LANユニットのストッパーを外します。**

＋ドライバー(#2)を使ってネジを外してください。

3 **無線LANユニットを取り付けます。**

4 **ストッパーをネジで固定します。**

5 **エアフィルターカバーを閉めます。**

ケーブルカバーの取り付け

ケーブルカバーを装着すると、雑然としたケーブル類をきれいに包み隠しスッキリした外観となります。(イラストは天吊り設置時のものです。)

取り付け方

1 ケーブル類を結束バンド(市販品)で束ねます。

2 ケーブルカバーの突起を、本機背面の差込口(2ヶ所)に差し込みます。

3 ケーブルカバーのネジ(2ヵ所)を締めます。(ネジは手で締められます。)

基本的な使い方

ここでは、映像の投写方法と映像補正方法について説明しています。

入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）

リモコンの【入力検出】ボタンまたは操作パネルの【Source Search】ボタンを押して、映像信号が入力されている入力端子の映像を投写します。

リモコンの場合

操作パネルの場合

※EB-G6750WUのみ

複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまでリモコンの【入力検出】ボタンまたは操作パネルの【Source Search】ボタンを繰り返し押します。

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。

映像信号がなにも入力されていないときは、以下の画面が表示されます。

リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

各ボタンに対応する入力端子は以下の通りです。

リモコン

入力端子

❺ ネットワークで接続しているコンピューターの映像に切り替わります。

❻ EB-G6750WUのみ

音量を調整する

音量を調整するには、以下の方法があります。

- リモコンの【音量】ボタンを押して調整する。
  【🔈】音量を下げます。
  【🔊】音量を上げます。

リモコン

- 環境設定メニューから調整する。
  ☛［設定］-［音量］p.84

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像のゆがみを補正する

投写映像のゆがみを補正するには、以下の方法があります。

- タテヨコ補正
  タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。
  ☛「タテヨコ補正」p.43

- Quick Corner
  4つのコーナーを個別に補正します。
  ☛「Quick Corner」p.44

- 弓形補正
  スクリーンのたるみや縮みによる湾曲した映像のゆがみを微調整できます。
  ☛「弓形補正」p.45

- ポイント補正
  部分的に発生するわずかなゆがみを補正したり、本機を複数台並べて投写するときに映像の重なり合う部分の位置を調整します。
  ☛「ポイント補正」p.55

- 操作パネルの【▭】ボタンを押すと、選択している補正方法を直接行えます。
- 複数の補正方法を組み合わせて使用することはできません。

タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。スクリーンに対して本機の傾斜角度が、上下方向と左右方向それぞれ30°までであれば補正できます。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **［設定］から［幾何学歪み補正］を選択します。**

3 **［タテヨコ］を選択し【↵】ボタンを押します。**

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、【↵】ボタンを押します。

4 【▲】【▼】ボタンで補正方法を選び、【◀】【▶】ボタンで補正します。

タテ補正

ヨコ補正

台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

5 補正を終了するには、【メニュー】ボタンを押します。

Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

2 [設定]から[幾何学歪み補正]を選択します。

3 [Quick Corner]を選択し【↵】ボタンを押します。

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、もう一度【↵】ボタンを押します。

4 補正するコーナーを【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して、【↵】ボタンを押します。

【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。

Quick Cornerで補正した結果を初期化する場合は[はい]を選択してください。

5 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでコーナーの位置を補正します。**

【↵】ボタンを押すと、手順4の補正するエリアを選択する画面が表示されます。

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。

6 **手順4と5を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。**

7 **補正を終了するには、【メニュー】ボタンを押します。**

弓形補正

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **[設定]から[幾何学歪み補正]を選択します。**

3 **[弓形補正]を選択し【↵】ボタンを押します。**

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、【↵】ボタンを押します。

4 **補正する箇所を【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して【↵】ボタンを押します。**

頂点を選択すると、隣接する２つの辺を調整できます。

【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。

弓形補正で補正した結果を初期化する場合は[はい]を選択してください。

5 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで辺の位置を補正します。

補正中に以下の画面が表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。

6 【戻る】ボタンを押して、前の画面に戻ります。

7 手順4～6を繰り返して、補正が必要な箇所すべてを補正します。

8 補正を終了するには、【メニュー】ボタンを押します。

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードです。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGBに準拠した映像になります。
DICOM SIM※1	エックス線写真などの医用画像を投写するのに最適です。陰影のくっきりした映像になります。なお、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。
マルチプロジェクション	複数のプロジェクターを利用して投写するのに最適です。各映像の色のトーンの違いを最小化します。

※1 RGB信号入力時と入力ソースがLANのときのみ選択できます。
※2 コンポーネントビデオ信号入力時と、入力ソースがビデオ/S-ビデオのときのみ選択できます。

【カラーモード】ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。

リモコン

カラーモードは環境設定メニューからも設定できます。
☛［画質調整］-［カラーモード］ p.81

投写映像のアスペクト比を切り替える

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比を切り替えます。

スクリーンタイプの設定により、選択できるアスペクトモードは異なります。

アスペクト比を切り替える前に、［スクリーンタイプ］を設定してください。
☛「スクリーン設定」p.22

切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

リモコン

アスペクトモード	説明
オート	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写します。
4:3	4:3のアスペクト比で投写します。
16:9	16:9のアスペクト比で投写します。
フル	画面いっぱいに投写します。
ズーム	入力した映像のアスペクト比のまま横方向が画面いっぱいになるように投写します。画面からはみ出した分は投写されません。
リアル	入力した映像の解像度のまま画面の中央に投写します。画面からはみ出した分は投写されません。

- アスペクト比は環境設定メニューからも設定できます。
  ☛［映像］-［アスペクト］ p.82
- コンピューターの映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターの解像度に合わせて環境設定メニューの［入力解像度］を［ワイド］または［ノーマル］に設定してください。
  ☛［映像］-［入力解像度］ p.82

アスペクトモードは以下のように切り替わります。

また、画面図の見方は次の通りです。

■：スクリーンタイプの設定により映像が表示されない領域。

□：アスペクトモードの設定により映像が表示されない領域。

EB-G6750WU/EB-G6550WU/EB-G6250W/EB-G6050W

スクリーンタイプの設定：16:10

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
16:9			
フル			
ズーム			
リアル※			

※　入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

スクリーンタイプの設定：16:9

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
フル			
ズーム			
リアル※			

※　入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

スクリーンタイプの設定：4:3

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
4:3			
16:9			

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
リアル※			

※ コンピューター映像と、HDMI入力端子/HDBaseT端子からの映像のみ。入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

EB-G6350

スクリーンタイプの設定：4:3

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
4:3			
16:9			
リアル※			

※ コンピューター映像と、HDMI入力端子からの映像のみ。入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

スクリーンタイプの設定：16:9

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
フル			
ズーム			
リアル※			

※ 入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

スクリーンタイプの設定：16:10

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
16:9			
フル			
ズーム			

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
リアル※			

※ 入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

画質を調整する

色相・彩度・明度の調整

R(赤)G(緑)B(青)C(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

設定は環境設定メニューから行います。

☛［画質調整］-［アドバンスト］-［RGBCMY］p.81

ガンマの調整

接続する機器の違いにより生じる、投写映像の発色の違いを調整します。

設定は環境設定メニューから行います。

☛［画質調整］-［アドバンスト］-［ガンマ］p.81

補正値を選んで調整する

☛［画質調整］-［アドバンスト］-［ガンマ］p.81

数値が小さいほど、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。数値が大きいと、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。

［画質調整］メニューの［カラーモード］で［DICOM SIM］を選択したときは、投写サイズに応じた補正値を選択します。

- 投写サイズが120インチ以下：より大きい数値を選択します。
- 投写サイズが120インチ以上：より小さい数値を選択します。

お使いの設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できない場合があります。

映像を見ながら調整する

☛［画質調整］-［アドバンスト］-［ガンマ］-［カスタム］-［映像から調整する］p.81

投写中の映像に表示されるカーソルで明るさを変更したい場所を選び、【↵】ボタンを押します。【▲】【▼】ボタンで調整します。

ガンマ調整グラフで調整する

☛［画質調整］-［アドバンスト］-［ガンマ］-［カスタム］-［グラフから調整する］p.81

ガンマ調整グラフを見ながら調整します。

フレーム補間(EB-G6750WU/EB-G6550WUのみ)

前後のコマから中間のコマを自動生成し補間することで、滑らかな映像にします。速い動きのある映像など、コマ飛びのような動きのぎこちなさが解消されます。

設定は環境設定メニューから行います。

☛［映像］-［フレーム補間］p.82

［弱］、［標準］、［強］で補間の加減を選択できます。設定変更後、ノイズなどが気になるときは、［オフ］に設定してください。

便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

複数台のプロジェクターを並べてワイドな映像として投写するとき、プロジェクター間の明るさや色合いの個体差を調整したり、つなぎ目を目立たなくできます。

複数台のプロジェクターを並べて投写するには大きく分けて2種類の方法があります。

Ⓐ それぞれのプロジェクターで、別々の画像を投写し、つなぎ目を目立たなくして投写する方法

Ⓑ それぞれのプロジェクターで、同じ画を投写し、表示倍率変更機能を用いて大きな映像として投写する方法

ここでは上記Ⓐを例にして説明を行います。

Ⓑのときも、基本の流れは同じですが、投写位置を合わせるときに表示倍率機能をつかいます。 ☛ p.59

作業の流れは以下のとおりです。

1. プロジェクターとリモコンにIDを設定する ☛ p.27
2. 投写位置を合わせる ☛ p.54
3. カラーモードの確認
4. 映像のつなぎ目を補正する(エッジブレンディング) ☛ p.56
5. 色合わせ(微調整)を行う

投写位置を合わせる

補正量の大きい順番に映像の投写位置を調整します。

1. 本体の位置(向き) ☛ p.20
2. レンズシフト/ ズーム ☛ p.24
3. 幾何学歪み補正
   - Quick Corner ☛ p.44
   - ポイント補正 ☛ p.55

- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。
- テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。 ☛ p.23
- 複数台並べて投写するときは、拡大・縮小などの処理を加えずにそのまま表示できるドットバイドットの画像を使うと補正作業を簡単に行えます。

ポイント補正

部分的に発生するわずかなゆがみを補正したり、映像の重なり合う部分の位置を調整します。

投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正することができます。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **［設定］から［幾何学歪み補正］を選択します。**

3 **［ポイント補正］を選択し【↵】ボタンを押します。**

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、もう一度【↵】ボタンを押します。

4 **［ポイント補正］を選択し【↵】ボタンを押します。**

［ポイント補正］：ポイント補正を行います。

［パターン色］：補正時に表示する格子の色を選択します。

［初期化］：［ポイント補正］の補正値、設定値をすべて初期値に戻します。

5 **格子の数（［3x3］、［5x5］、［9x9］）を選択し【↵】ボタンを押します。**

6 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでガイドを補正したいポイントに合わせ、【↵】ボタンを押します。**

7 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでゆがみを補正します。**

続けて他のポイントを修正する場合は、【戻る】ボタンを押して前の画面に戻り、手順6、7を行います。

【↵】ボタンを押すたびに、画像や格子を表示/非表示できます。

8 補正を終了するには、【メニュー】ボタンを押します。

カラーモードの確認

カラーモードの設定を［マルチプロジェクション］にします。 ☛ p.46

映像のつなぎ目を補正する（エッジブレンディング）

本機を複数台並べて投写するとき、映像のつなぎ目を目立たなくします。

ランプの明るさの調整

エッジブレンディングを行う前に、それぞれのプロジェクターのランプ個体の明るさが同じになるように調整します。

一番暗いランプを基準に調整してください。明るさは5段階で調整できます。

- ［節電モード］を［オフ］に設定してください。
  ☛ ［設定］-［節電モード］ p.84
- ［明るさレベル］を調整しても、それぞれのランプの明るさが完全に一致しない場合があります。

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

2 ［拡張設定］から［マルチプロジェクション］を選びます。

3 ［明るさレベル］を選び、【↵】ボタンを押します。

4 明るさを［1］～［5］で選びます。

5 【戻る】ボタンを押して、前の画面に戻ります。

エッジブレンディングを行う

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。
☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 ［拡張設定］から［マルチプロジェクション］を選びます。

3 **[エッジブレンディング]を選び、【↵】ボタンを押します。**

以下の画面が表示されます。

サブメニュー	機能
エッジブレンディング	[オン]に設定すると、本機のエッジブレンディング機能が有効になります。マルチスクリーンで投写しないときは、[オフ]に設定します。
エッジ位置(上)/(下)/(右)/(左)	[ブレンディング]：[オン]に設定すると、設定中の方向に対してエッジブレンディング機能が有効になり、ブレンド範囲にグラデーションをかけます。 [ブレンド範囲]：グラデーションをかける範囲を調整します。1画素単位での調整が可能です。範囲の最大は解像度の45%です。
ブレンド曲線	グラデーションのかけ方を3通りの中から選択できます。
マーカー	[オン]に設定すると、エッジブレンディングの設定範囲にマーカーが表示されます。
パターン表示	[オン]に設定すると、エッジブレンディングの設定範囲の位置を合わせるためのパターンが表示されます。
マーカー色	マーカーの色の組み合わせを3通りの中から選択できます。

4 **エッジブレンディングを有効にします。**

(1) [エッジブレンディング]を選び、【↵】ボタンを押します。

(2) [オン]を選び、【↵】ボタンを押します。

(3) 【戻る】ボタンを押します。

5 **[マーカー]を[オン]にします。**

(1) [マーカー]を選び、【↵】ボタンを押します。

(2) [オン]を選び、【↵】ボタンを押します。

(3) 【戻る】ボタンを押します。

マーカーが見えにくいときは、[マーカー色]で色を変更できます。

6 **[パターン表示]を[オン]にします。**

(1) [パターン表示]を選び、【↵】ボタンを押します。

(2) [オン]を選び、【↵】ボタンを押します。

(3) 【戻る】ボタンを押します。

7 **エッジ位置(上)/(下)/(右)/(左)を設定します。**

(1) エッジブレンディングを設定する[エッジ位置(上)]/[エッジ位置(下)]/[エッジ位置(右)]/[エッジ位置(左)]を選び、【↵】ボタンを押します。

(2) ［ブレンディング］を選び、【↵】ボタンを押します。

(3) ［オン］を選び、【↵】ボタンを押します。

(4) 【戻る】ボタンを押します。

(5) ［ブレンド範囲］でグラデーションをかける範囲を調整します。
映像の重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなる値が最適になります。

(6) 【戻る】ボタンを押します。

(7) ［マーカー］と［パターン表示］を［オフ］にします。

8 **ブレンド曲線を設定します。**

(1) ［ブレンド曲線］を選び、【↵】ボタンを押します。

(2) グラデーションのかけ方を［1］～［3］から選び、【↵】ボタンを押します。
映像のつなぎ目が補正されます。

(3) ［メニュー］ボタンを押して終了します。

色合わせ(微調整)を行う

エッジブレンディングで補正した投写映像の明るさや色合いのバランスを調整するには、以下の手順で行います。

> 調整後も明るさや色合いが完全には均一にならない場合があります。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **［拡張設定］から［マルチプロジェクション］を選びます。**

3 **［マルチスクリーン］を選び、【↵】ボタンを押します。**

以下の画面が表示されます。

［調整レベル］：白 - グレー - 黒まで5つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

［明るさ補正］：明るさを全白から全黒の間で色階調ごとに調整します。

［色補正(緑-赤)］：緑～赤の色味を調整します

［色補正(青-黄)］：青～黄の色味を調整します。

> 【↵】を押すたびに、投写映像/調整用画面が切り替わります。

4 **[調整レベル]を選択し、【◀】【▶】ボタンで調整レベルを設定します。**

5 **[明るさ補正]を選択し、【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。**

6 **[色補正(緑-赤)]または[色補正(青-黄)]を選択し、【◀】【▶】ボタンで色味をそれぞれ調整します。**

7 **手順4に戻り、それぞれのレベルで調整を行います。**

8 **調整を終了するには、【メニュー】ボタンを押します。**

映像を切り出して表示する(表示倍率変更)

投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの投写映像と合わせて、1つの大きな映像を作ります。

1 **映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。**

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 **[映像]から[表示倍率変更]を選びます。**

3 **[表示倍率変更]を[オン]にします。**

(1) [表示倍率変更]を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) [オン]を選択し、【↵】ボタンを押します。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

4 **[表示倍率モード]を設定します。**

(1) [表示倍率モード]を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) [ズーム表示]、[フル表示]のいずれかを選び、【↵】ボタンを押します。

[ズーム表示]：現在表示している映像のサイズを基準にして調整します。

[フル表示]：プロジェクターのパネルサイズ(映像を表示できる最大領域)を基準にして調整します。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

5 **表示倍率を調整します。**

【▲】【▼】ボタンで調整方法を選択し、【◀】【▶】ボタンで調整します。

［-］［+］：垂直方向、水平方向同時に映像を拡大/縮小します。

［タテ倍率］：垂直方向に映像を拡大/縮小します。

［ヨコ倍率］：水平方向に映像を拡大/縮小します。

6 **［映像表示範囲］を調整します。**

(1) ［映像表示範囲］を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで映像をスクロールします。
画面を見ながら、それぞれの映像の座標やサイズを調整します。

(3) 【メニュー】ボタンを押して終了します。

2種類の映像を同時に投写する(2画面)

2 つの入力ソースからの映像を、1 つのスクリーンの左右に同時に投写できます。

- 以下の入力ソースの組み合わせは、2画面で投写できません。
  コンピューター - BNC、S-ビデオ - ビデオ、HDMI - HDBaseT(EB-G6750WUのみ)
- 同じ入力ソースを左右の画面に投写することはできません。

操作方法

2画面で投写する

1 **投写中にリモコンの【2画面】ボタンを押します。**

投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。

リモコン

環境設定メニューからも同様の操作ができます。
☛ [設定]-[2画面] p.84

2 **【メニュー】ボタンを押します。**

2画面設定画面が表示されます。

3 **[入力ソース]を選択して【↵】ボタンを押します。**

4 ［左画面］、［右画面］でそれぞれ投写する入力ソースを選択します。

以下の方法でも同様の操作を行えます。

☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41
☛「リモコンで目的の映像に切り替える」p.42

5 ［実行］を選択して【⏎】ボタンを押します。

2画面で投写中に各画面の入力ソースを切り替えるときは、手順2から始めます。

左画面/右画面を入れ替える

投写映像を左右で入れ替えるときは、以下の操作を行います。

1 2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。

2 ［左右画面入替］を選択して【⏎】ボタンを押します。

投写映像の左右が入れ替わります。

左画面/右画面の画面サイズを切り替える

1 2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。

2 ［画面サイズ］を選択して【⏎】ボタンを押します。

3 表示したい画面サイズを選択して【⏎】ボタンを押します。

画面サイズ設定後の投写イメージは以下のとおりです。

［均等］

［左拡大］

［右拡大］

- 左画面、右画面の両方を同時に拡大することはできません。
- 片方の画面を拡大したときは、もう片方の画面は縮小されます。
- 入力している映像信号によっては、［均等］に設定しても左右の画面が同じサイズに見えない場合があります。

音声を切り替える

1 **2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **［音声切替］を選択して【↵】を押します。**

3 **出力する音声を選択して【↵】ボタンを押します。**

［オート］を選択すると、サイズの大きな画面の音声が出力されます。

画面サイズが同じときは左画面の音声が出力されます。

2画面を終了する

2画面を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。

以下の操作でも2画面を終了できます。

- リモコンの【2画面】ボタンを押す。
- 2画面設定画面で［2画面終了］を選択する。 ☛ p.61

2画面で投写中の制限事項

操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- 環境設定メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え
- リモコンの【ユーザー1】ボタン、【ユーザー2】ボタン、【ユーザー3】ボタンでの操作

- ヘルプを表示できるのは、映像信号が入力されていないとき、または異常・警告通知が表示されたときのみです。
- ユーザーロゴは表示されません。

映像に関する制限事項

- 右画面の映像には、［画質調整］メニューの初期値が適用されます。ただし、［カラーモード］、［絶対色温度］、［アドバンスト］は、左画面で投写している映像の設定値が適用されます。また、［映像］メニューの［フレーム補間］も、左画面で投写している映像の設定値が適用されます。
- ［オートアイリス］は機能しません。
  ☛［画質調整］-［オートアイリス］p.81

映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。

【A/Vミュート】ボタンを押すたびにA/Vミュートが実行/解除されます。

リモコン

- 環境設定メニューの［A/Vミュート解除］を［A/Vミュート］に設定すると、A/Vミュートを実行したまま以下の操作ができます。
  ☛［拡張設定］-［動作設定］-［A/Vミュート解除］p.85
  - リモコンの入力切り替えボタンで入力ソースを切り替える。
    ☛「リモコンで目的の映像に切り替える」p.42
  - 通信コマンドを使ってコンピューターから本機を制御する。
    ☛「監視と制御」p.145

  【A/Vミュート】ボタンを押す、またはA/Vミュートをオフにするコマンドを送信したときのみA/Vミュートが解除されます。
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、遮断したときの場面からは再開できません。
- 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示される画面は、環境設定メニューから選択できます。
  ☛［拡張設定］-［表示設定］-［A/Vミュート］p.85
- A/Vミュート中もランプは点灯しているので、ランプ点灯時間に累積されます。

映像を停止させる（静止）

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

【静止】ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

リモコン

- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、静止したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に【静止】ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

1 **Eズームを開始します。**

【⊕】ボタンを押すと、ターゲットスコープ( )が表示されます。

リモコン

2 **拡大表示したい部分にターゲットスコープ( )を移動させます。**

リモコン

3 **拡大します。**

リモコン

【⊕】ボタン：押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

【⊖】ボタン：拡大した結果を縮小します。

【戻る】ボタン：Eズームを解除します。

- 拡大投写中に【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを押すと、映像をスクロールできます。
- ［表示倍率変更］が［オン］のときはEズームは無効です。
  ☛ ［映像］ - ［表示倍率変更］ p.82

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

1 **ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。**

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 **［拡張設定］から［ユーザーロゴ］を選びます。**

- ［パスワードプロテクト］で［ユーザーロゴ保護］を［オン］に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。［ユーザーロゴ保護］を［オフ］にしてから操作してください。
  ☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」p.72
- 幾何学歪み補正、Eズーム、アスペクトを行っているときに［ユーザーロゴ］を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

3 **「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、［はい］を選択します。**

【↵】ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

4 **登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。**

プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

リモコン

登録できるサイズは400x300ドットです。

5 **【↵】ボタンを押すと「この映像を使用しますか？」と表示されるので、［はい］を選択します。**

6 **表示倍率設定画面で倍率を選択します。**

7 **「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、［はい］を選択します。**

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。

ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。

表示している映像の設定値をメモリーとして登録し、必要なときに呼び出せます。以下のメニュー項目の設定値が登録されます。

トップメニュー	サブメニュー
画質調整	全ての設定項目
映像	プログレッシブ変換 フレーム補間 ノイズリダクション モスキートNR ビデオレベル 表示倍率変更 オーバースキャン 映像処理
設定	節電モード
拡張設定	マルチプロジェクション - 明るさレベル - エッジブレンディング - マルチスクリーン

メモリーの登録／呼び出し／削除

1 **映像を表示中に【メニュー】ボタンを押します。**

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 **［設定］から［メモリー］を選択します。**

3 **目的の機能を選択し、【↵】ボタンを押します。**

［メモリー呼出］、［メモリー登録］は映像を表示中のみ実行できます。

機能	説明
[メモリー呼出]	登録したメモリーを呼び出します。メモリー名を選択し【↵】ボタンを押すと、表示中の映像の設定値が選択したメモリーの設定値に変更されます。
[メモリー登録]	表示中の映像の設定値をメモリーに登録します。メモリー名を選び、【↵】ボタンを押すと設定値が登録されます。
[メモリー削除]	登録したメモリーを削除します。メモリー名を選択し、【↵】ボタンを押すとメッセージが表示されます。[はい]を選択し、【↵】ボタンを押すと選択したメモリーが削除されます。すべてのメモリーを削除するときは、[メモリー初期化]から行います。 ☛ [初期化] - [メモリー初期化] p.101

機能	説明
[メモリー名称変更]	メモリー名を変更します。変更するメモリー名を選択し、【↵】ボタンを押します。ソフトキーボードでメモリー名を入力します。 ☛「ソフトキーボードの操作」p.90 入力が終了したら[Finish]にカーソルを合わせて、【↵】ボタンを押します。

メモリーが登録されているときは、メモリー名と、そのカラーモードが表示されます。

メモリー名の左のマークが緑色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、以前の内容を消去し、現在の設定を登録します。

特定の日、あるいは毎週の決まった時間に電源のオン/オフを行ったり、入力ソースを切り替えるなど、スケジュールに登録したイベントを自動的に実行することができます。

警告

燃えやすい物をプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能により、プロジェクターの電源がオンになり、火災の原因となることがあります。

スケジュールを登録する

- 本機の日付/時刻を設定または調整するときは、環境設定メニューの[日付＆時刻]で行います。
  ☛「時刻の設定」p.29
- [パスワードプロテクト]の[時刻/スケジュール保護]を[オン]にしていると、スケジュール機能に関する設定の変更はできません。[時刻/スケジュール保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。
  ☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」p.72

設定方法

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 [拡張設定]から[スケジュール設定画面へ]を選びます。

3 [スケジュール]から[新規追加]を選びます。

4 スケジュールの内容を設定します。

サブメニュー名	機能
イベント設定	イベント実行時のプロジェクターの動作を設定します。特にイベント実行時の動作を指定しない項目は[変更しない]を選択します。 以下の項目の動作を設定できます。 • 電源 • 入力ソース • 節電モード • A/V ミュート • 音量
日付/時刻設定	イベントを実行する日付や曜日、時刻を設定します。日付や時刻の入力はソフトキーボードで行います。 ☛「ソフトキーボードの操作」p.90 入力が終了したら[Finish]にカーソルを合わせ、【↵】ボタンを押します。

5 ［保存］を選択し、【↵】ボタンを押します。

引き続きスケジュールを登録するときは手順3から手順5を行います。

6 ［設定完了］を選択し、［はい］を選択して、登録を終了します。

［スケジュール設定］画面（手順3の画面）ではカレンダーが表示されます。イベントが登録されている時刻にはインジケーターが点灯します。（ ：単発のイベント、 ：定期のイベント、 ：通信監視のオン/オフ、 ：無効のイベント）

【◀】【▶】ボタンでカーソルを移動すると、その日に登録されているスケジュールを確認できます。

スケジュールを編集する

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 ［拡張設定］から［スケジュール設定画面へ］を選びます。

3 【◀】【▶】ボタンで編集するスケジュールが登録されている日付にカーソルを合わせます。

4 編集するスケジュールにカーソルを合わせ、【戻る】ボタンを押します。

定期のスケジュールは繰り返しを示すアイコンが表示されます。

5 表示されるメニューから編集を行います。

サブメニュー名	機能
有効/無効	選択したスケジュールを有効または無効にします。スケジュールが有効のときは、インジケーターが緑色に点灯します。
編集	選択したスケジュールの内容を編集します。［保存］を選択し、【↵】ボタンを押して編集を終了します。
削除	選択したスケジュールを削除します。
新規追加	スケジュールを新規に登録します。［保存］を選択し、【↵】ボタンを押して登録を終了します。

6 ［設定完了］を選択し、［はい］を選択して、編集を終了します。

登録されているスケジュールをすべて削除するには［スケジュール初期化］を選択して［はい］を選択します。［設定完了］を選択し、［はい］を選択するとスケジュールが削除されます。

本機には、次の充実したセキュリティー機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
  本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック/リモコンボタンロック
  本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
  ☛「操作を制限する」p.74
- 盗難防止用ロック
  本機には機器そのものを持ち出されないように、盗難防止の機構が備わっています。
  ☛「盗難防止用ロック」p.75

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

- [電源投入時]
  [電源投入時]を[オン]にすると、電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。
- [ユーザーロゴ保護]
  せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
  - ユーザーロゴのキャプチャー
  - [表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]の設定
    ☛ [拡張設定]-[表示設定] p.85
- [ネットワーク保護]
  [ネットワーク保護]を[オン]にすると、[ネットワーク]の設定変更を禁止できます。
  ☛「ネットワークメニュー」p.89
- [時刻/スケジュール保護]
  [時刻/スケジュール保護]を[オン]にすると、本機のシステム時刻やスケジュール設定の変更を禁止できます。

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

1 **投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。**
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン

すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。
パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
☛「パスワードの認証」p.73

2 **設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【↵】ボタンを押します。**

3 **[オン]を選択し、【↵】ボタンを押します。**

【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

4 **パスワードを設定します。**

(1) [パスワード設定]を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、[はい]を選択し、【↵】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。[いいえ]を選択すると、手順2の画面に戻ります。

(3) 【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

リモコン

(4) 入力したパスワードを再度入力します。
「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモコンで入力します。

【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
  ☛『お問い合わせ先』
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」
  ☛『お問い合わせ先』

操作を制限する

本機には、次の2種類の操作制限機能が装備されています。

- 操作ボタンロック
  イベントやショーなどで投写中に本機を操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利な機能です。
- リモコンボタンロック
  リモコンを誤って操作することがないように、リモコンの基本操作に必要になる主要なボタン以外の操作をできなくする機能です。

操作ボタンロック

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。操作ボタンロックを行ってもリモコンからは通常どおりに操作できます。

- 全ロック
  操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
  操作パネルの【⏻】ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

1 **投写中に操作パネルの【🔒】ボタンを押して、操作ボタンロック画面を表示します。**

> 環境設定メニューの［操作ボタンロック］からも設定できます。
> ☛［設定］-［操作ボタンロック］ p.84

2 **目的に応じて、［全ロック］または［操作ロック］を選択します。**

3 **確認のメッセージが表示されるので、［はい］を選びます。**

設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの[操作ボタンロック]で[オフ]を選びます。
  ☛ [設定]-[操作ボタンロック] p.84
- 操作パネルの【↵】ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

リモコンボタンロック

リモコンの以下のボタンをロックできます。

【ヘルプ】ボタンを約5秒間押し続けるたびにロック/解除されます。

リモコン

リモコンボタンロックが設定されていても、以下の操作は可能です。

- リモコン受光部の設定の初期化
- リモコンボタンロックの解除

盗難防止用ロック

本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティースロット
  Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。
  マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。
  ☛ http://www.kensington.com/
- セキュリティーケーブル取付け部
  市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。

環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

環境設定メニューの操作方法を説明します。

リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。使用できるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

1 環境設定メニュー画面を表示します。

2 トップメニュー項目を選択します。

3 サブメニュー項目を選択します。

4 設定を変更します。

ガイドに[初期値]：リセットと表示されているときは、リモコンの【初期値】ボタンを押すと調整中の設定値が初期値に戻ります。

5 【メニュー】ボタンを押して、設定を終了します。

環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質調整メニュー ☛ p.81	カラーモード	ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、フォト、スポーツ、sRGB、DICOM SIM、マルチプロジェクション
	明るさ	-24～24
	コントラスト	-24～24
	色の濃さ	-32～32
	色合い	-32～32
	シャープネス	-5～5、アドバンスト
	絶対色温度	5000K～10000K
	アドバンスト	ガンマ、RGB、RGBCMY
	オートアイリス	オン、オフ
映像メニュー ☛ p.82	自動調整	オン、オフ
	入力解像度	オート、ワイド、ノーマル、マニュアル
	トラッキング	-
	同期	-
	表示位置	-
	3D設定	3D映像
	プログレッシブ変換	オフ、ビデオ、フィルム/オート
	フレーム補間（EB-G6750WU/EB-G6550WUのみ）	オフ、弱、標準、強
	ノイズリダクション	オフ、NR1、NR2
	モスキートNR	オン、オフ
	ビデオレベル	オート、通常、拡張
	入力信号方式	オート、RGB、コンポーネント
	ビデオ信号方式	オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM
	アスペクト	ノーマル、オート、4:3、16:9、フル、ズーム、リアル
	表示倍率変更	-
	オーバースキャン	オート、オフ、4%、8%
	映像処理	速い、きれい
	DisplayPort EQ 設定	1、2
設定メニュー ☛ p.84	幾何学歪み補正	タテヨコ、Quick Corner、弓形補正、ポイント補正
	2画面	-
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ
	節電モード	オフ、温度感知モード、オン
	音量	0～20
	リモコン受光部	フロント・リア、フロント、リア、オフ
	ユーザーボタン	ユーザーボタン1、ユーザーボタン2、ユーザーボタン3
	テストパターン	-
	メモリー	メモリー呼出、メモリー登録、メモリー削除、メモリー名称変更

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
拡張設定メニュー ☛ p.85	表示設定	メニュー表示位置、メッセージ表示、背景表示、スタートアップスクリーン、A/Vミュート、エアフィルター清掃通知、スクリーン設定、液晶アライメント、ユニフォーミティー
	ユーザーロゴ	-
	設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り
	設置角度	0度～180度～-15度
	動作設定	ダイレクトパワーオン、スリープモード、スリープモード時間、高地モード、BNC同期終端、リモコン種類、方向ボタン反転、起動時入力検出、A/Vミュート解除、確認音、レンズタイプ、日付＆時刻
	A/V出力設定	A/V出力、モニター出力、音声出力設定
	待機モード	通信オン、通信オフ
	HDBaseT設定（EB-G6750WUのみ）	制御通信
	マルチプロジェクション	明るさレベル、エッジブレンディング、マルチスクリーン、プロジェクターID
	スケジュール設定画面へ	-
	言語	27言語
情報メニュー ☛ p.102	ランプ点灯時間	-
	入力ソース	-
	入力信号	-
	入力解像度	-
	ビデオ信号方式	-
	リフレッシュレート	-
	同期情報	-
	ステータス	-
	シリアル番号	-
	Event ID	-
初期化メニュー ☛ p.102	全初期化	-
	ランプ点灯時間初期化	-
	メモリー初期化	-

ネットワークメニュー

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
基本設定メニュー ☛ p.91	プロジェクター名	-
	Web Remoteパスワード	-
	プロジェクターキーワード	オン、オフ
無線LANメニュー ☛ p.92	無線LAN電源	オン、オフ
	Wi-Fi Protected Setup	-
	無線LAN方式	802.11b/g、802.11b/g/n
	接続モード	かんたんモード、マニュアルモード
	自動SSID設定	オン、オフ
	SSID	-
	アクセスポイント検索	-
	チャンネル設定	1ch、6ch、11ch
	SSID表示	オン、オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	DHCP	オン、オフ
	IPアドレス	-
	サブネットマスク	-
	ゲートウェイアドレス	-
	IPアドレス表示	オン、オフ
	地域コード	-
セキュリティーメニュー ☛ p.94	セキュリティー	Open 、 WPA/WPA2-PSK、WPA/WPA2-EAP
有線LANメニュー ☛ p.97	DHCP	オン、オフ
	IPアドレス	-
	サブネットマスク	-
	ゲートウェイアドレス	-
	IPアドレス表示	オン、オフ
管理者設定メニュー ☛ p.98	管理者パスワード	-
	ネットワークホスト名	-
	PJLinkパスワード	-
	Web制御パスワード	-
	Monitor パスワード	-
	セキュアHTTP	オン、オフ
	メール通知機能	-
	証明書管理	-
	SNMP	-
	優先ゲートウェイ	有線、無線
	AMX Device Discovery	オン、オフ
	Crestron RoomView	オン、オフ
	Bonjour	オン、オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	EPSON Message Broadcasting	オン、オフ

画質調整メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41

サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 ☛「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」p.46
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。

サブメニュー	機能
色の濃さ	（コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ信号入力時のみ調整可能） 映像の色の濃さを調整します。
色合い	（コンポーネントビデオ信号入力時に調整可能。コンポジットビデオ信号入力時は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能） 映像の色合いを調整します。
シャープネス	［スタンダード］：映像のシャープ感を調整します。より細部の調整は、［アドバンスト］を選択して行います。 ［アドバンスト］：以下の4項目で設定を行います。 ［高域強調］：＋側に設定すると、髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。 ［低域強調］：＋側に設定すると、被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。 ［水平シャープネス］：＋側に設定すると、水平方向で画像を強調します。 ［垂直シャープネス］：＋側に設定すると、垂直方向で画像を強調します。
絶対色温度	映像全体の色合いを調整します。5000K～10000Kの10段階で調整することができます。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。
アドバンスト	以下の項目を選んで調整できます。 ［ガンマ］：補正値を選んだり、映像やグラフを見ながら映像の発色を調整します。 ［RGB］：オフセット、ゲインをR(赤)、G(緑)、B(青)ごとに調整します。 ［RGBCMY］：R（赤）、G（緑）、B（青）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）ごとに色相、彩度、明度を調整します。

サブメニュー	機能
オートアイリス	（［カラーモード］を［ダイナミック］、［シアター］に設定しているときのみ設定可能、［エッジブレンディング］が［オン］のときは設定不可） ［オン］にすると、映像に合わせて最適な光量に調整します。 設定値はカラーモードごとに保存されます。
初期化	［画質調整］メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」p.102

映像メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

サブメニュー	機能
自動調整	（コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効） ［オン］にすると、入力信号が切り替わったときに、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
入力解像度	（コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効） ［オート］にすると、入力信号の解像度を自動で判別します。［オート］に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は［ワイド］に、4:3や5:4画面は［ノーマル］に設定してください。 ［マニュアル］にすると、特定の入力解像度に設定できます。接続するコンピューターが固定のときに適しています。
トラッキング	（コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効） 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期	（コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効） 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。

サブメニュー	機能
3D設定	本機を2台使用してパッシブ方式の3D映像を投写するときに設定します。詳しくはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛『お問い合わせ先』
プログレッシブ変換	インターレース（i）信号をプログレッシブ（p）信号に変換します。（IP変換） ［オフ］：動きの大きい映像に適しています。 ［ビデオ］：一般のビデオ映像に適しています。 ［フィルム/オート］：映画フィルムやCG、アニメーション映像に適しています。
フレーム補間（EB-G6750WU/EB-G6550WU のみ）	映像と映像の間に中間画像を生成し、動きの速い動画をなめらかに再生することができます。
ノイズリダクション	（［映像処理］が［速い］のときは設定不可） プログレッシブ映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは［オフ］に設定してご覧ください。
モスキートNR	（［映像処理］が［速い］のときは設定不可） プログレッシブ信号入力時に、映像の色の変化が激しい輪郭部分に発生する波状のノイズを低減させます。
ビデオレベル	HDMI入力端子、DisplayPort入力端子、HDBaseT端子（EB-G6750WUのみ）からの入力信号のビデオレベルを選択します。映像の黒浮きや白飛びが気になるときは、［拡張］に設定します。
入力信号方式	Computer入力端子、BNC入力端子からの入力信号を選択します。 ［オート］にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 ［オート］に設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。

サブメニュー	機能
ビデオ信号方式	Video入力端子、S-Video入力端子からの入力信号を選択します。［オート］にすると、ビデオ信号を自動認識します。［オート］に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像のアスペクト比を設定します。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.47
表示倍率変更	本機を複数台使用してひとつの映像を投写するときに、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。 ☛「映像を切り出して表示する（表示倍率変更）」p.59
オーバースキャン	（コンポーネントビデオ信号入力時に設定可能） 出画率（投写する映像の範囲）を変更します。トリミングする範囲の設定を、［4%］、［8%］のいずれかに変更できます。［オート］に設定したときは、入力信号に応じて自動的に調整されます。
映像処理	映像処理の設定を切り替えます。 ［速い］：映像の表示速度を速くします。 ［きれい］：映像の画質が向上します。
DisplayPort EQ設定	DisplayPort 入力端子に接続している映像機器に応じてDisplayPort受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり映らないときは、［1］、［2］のいずれかを選択します。
初期化	［映像］メニューのうち、［入力信号方式］、［映像処理］、［DisplayPort EQ 設定］を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」p.102

設定メニュー

サブメニュー	機能
幾何学歪み補正	ゆがんだ画面を補正します。 ☛「映像のゆがみを補正する」p.43 • ［タテヨコ］： ［タテ補正］、［ヨコ補正］を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。 • ［Quick Corner］： 投写映像の4つの角を選んで補正します。 • ［弓形補正］： スクリーンのたるみや縮みによる湾曲した映像のゆがみを微調整できます。 • ［ポイント補正］： 投写画像を格子で区切り、選択した格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正することができます。
2画面	2画面で投写します。 ☛「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」p.61

サブメニュー	機能
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。 ☛「操作ボタンロック」p.74
節電モード	［オフ］で使用するときランプが一番明るくなります。 ［温度感知モード］に設定すると、使用する環境の温度※が高くなったときに、ランプの明るさを自動的に落として、動作温度を制御をします。 ［オン］で使用すると、投写中の消費電力、ファン回転音が低下します。
音量	音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
リモコン受光部	リモコンからの操作信号の受信を制限します。 ［オフ］に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。リモコンから操作したいときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押して、設定を初期値に戻してください。
ユーザーボタン	リモコンの【ユーザー1】ボタン、【ユーザー2】ボタン、【ユーザー3】ボタンにそれぞれ割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。割り当てることのできるのは以下の項目です。 ［節電モード］、［情報］、［プログレッシブ変換］、［幾何学歪み補正］、［マルチプロジェクション］、［入力解像度］、［メモリー］、［映像処理］
テストパターン	本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。 ☛「テストパターンを表示する」p.23
メモリー	メモリー機能に関する操作や設定を行います。 ☛「メモリー機能」p.67

サブメニュー	機能
初期化	［設定］メニューのうち［ユーザーボタン］、［メモリー］を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」p.102

※ 標高0m～1499mの環境では約+40℃、標高1500m～3048mの環境では約+35℃。

拡張設定メニュー

サブメニュー	機能
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 ［メニュー表示位置］：投写画面でメニューを表示する位置を設定します。 ［メッセージ表示］：［オフ］に設定すると、次の表示がされなくなります。 入力ソースやカラーモード、アスペクトを切り替えたときの項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。 ［背景表示］※：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を［黒］、［青］、［ロゴ］のいずれかで設定します。 ［スタートアップスクリーン］※：［オン］にすると、投写開始時に［ユーザーロゴ］を表示します。 ［A/Vミュート］※：【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示する画面を［黒］、［青］、［ロゴ］のいずれかで設定します。 ［エアフィルター清掃通知］：エアフィルターの清掃通知をする(［オン］)/しない(［オフ］)を設定します。［オン］に設定していると、エアフィルターの詰まりを感知した場合にメッセージを表示します。 ［スクリーン設定］：（ネットワークで接続したコンピューターの映像を投写中は設定不可。）お使いのスクリーンに合わせて画面のアスペクト比や位置を設定します。 ☛「スクリーン設定」p.22 ［液晶アライメント］：画面の色ずれ（赤・青）を補正します。 ☛「液晶アライメント」p.134 ［ユニフォーミティー］：画面全体の色味のバランスを調整します。 ☛「ユニフォーミティー」p.135
ユーザーロゴ※	背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。 ☛「ユーザーロゴの登録」p.66

サブメニュー	機能
設置モード	本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。 ［フロント］、［フロント・天吊り］、［リア］、［リア・天吊り］ 【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。 ［フロント］↔［フロント・天吊り］ ［リア］↔［リア・天吊り］
設置角度	本機の設置状態に合わせて設定します。 ☛「設置条件」p.20

サブメニュー	機能
動作設定	［ダイレクトパワーオン］：［オン］にすると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。 停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。 ［スリープモード］：［オン］に設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。 ［スリープモード時間］：［スリープモード］を［オン］にしたときに、自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲で設定します。 ［高地モード］：標高約1500m以上でお使いの場合は［オン］にします。 ［BNC同期終端］：BNC入力端子からの信号の終端処理を設定します。通常は［オフ］で使用します。スイッチャーなど、アナログ(75Ω) 終端が必要なときは［オン］に設定します。 ［リモコン種類］：本機を操作するリモコンの種類を［標準］/［簡単］から選択できます。 本製品に同梱のリモコンで操作するときは［標準］に設定します。［簡単］に切り替えると、他のエプソンプロジェクターに添付のリモコンで本機を操作できます。これまで使い慣れているリモコンを共用したいときに便利です。 ただし、［簡単］に切り替えた以降は本製品に同梱のリモコンで操作することができなくなります。本機を天吊り設置しているときなどは［標準］に戻す操作が困難なこともありますので、よくご確認いただいてから切り替えてください。また、本機やお使いのリモコンに搭載されていない機能はご利用になれません。 ［方向ボタン反転］：天吊り使用時は、［オン］に設定します。 ［起動時入力検出］：本機の電源をオンにしたときに、映像入力を自動検出する（［オン］）/しない（［オフ］）を設定します。

サブメニュー	機能
	［A/Vミュート解除］：（［パスワードプロテクト］の［ユーザーロゴ保護］を［オン］にしているときは設定不可。 ☛ p.72 ） ［A/Vミュート］に設定すると、【A/Vミュート】ボタンを押したとき（またはA/Vミュートをオフにするコマンドを送信したとき）のみA/Vミュートが解除されます。 ［すべて］に設定すると、本機を操作をしたときにA/Vミュートが解除されます。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64 ［確認音］：［オン］に設定すると、本機の電源のオン/オフ時や、クールダウンの終了時を音でお知らせします。 ［レンズタイプ］：オプション品の短焦点レンズ（ELPLU01）を装着したときは、［ELPLU01］に設定します。それ以外のレンズをお使いのときは［その他］に設定してください。 ［日付＆時刻］：本機のシステム時刻に関する設定を行います。 ☛「時刻の設定」p.29

サブメニュー	機能
A/V出力設定	［A/V出力］：（［待機モード］が［通信オン］のときのみ設定可能）本機がスタンバイ状態のときも、外部機器に音声や映像を出力するときは［常時］に設定します。 ［モニター出力］：本機がスタンバイ状態のときに外部モニターへ出力する映像ソースを選択します。［オート］に設定すると、本機の電源をオフにしたときに選択している入力ソースに応じて、Computer入力端子またはBNC入力端子からのアナログRGB信号が出力されます。 ［音声出力設定］：音声に関する以下の設定を行います。 • ［音声出力］：Computer入力端子、BNC入力端子、S-Video入力端子、Video入力端子からの映像を投写するときの音声出力を選択します。［オート］に設定すると、それぞれの映像入力端子に対応した音声入力端子からの音声を出力します。 ☛「接続する」p.31 • ［DisplayPort音声出力］：DisplayPort入力端子からの映像を投写するときの音声ソースを選択します。［DisplayPort］を選択すると映像の音声がそのまま出力されます。［音声入力3］を選択するとAudio3入力端子からの音声が出力されます。 • ［HDMI音声出力］：HDMI入力端子からの映像を投写するときの音声ソースを選択します。［HDMI］を選択すると映像の音声がそのまま出力されます。［音声入力3］を選択するとAudio3入力端子からの音声が出力されます。
待機モード	［通信オン］に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも以下の操作が可能です。 • 本機をネットワーク監視・制御する。 • 音声や映像を外部機器に出力する。（［A/V出力］が［常時］のときのみ） • HDBaseT端子からの通信を有効にする。（［制御通信］が［オン］のときのみ。）

サブメニュー	機能
HDBaseT設定（EB-G6750WUのみ）	オプション品のHDBaseTトランスミッターを使用してHDBaseT端子に接続したときの設定を行います。 ［制御通信］：［オン］にすると、HDBaseT端子からのEthernet通信、シリアル通信、有線リモコン制御が有効になります。（本機のLAN端子、RS-232C端子、Remote端子は無効になります。）
マルチプロジェクション	本機を2台以上並べて使用するときの設定を行います。 ☛「マルチプロジェクション機能」p.54 ［明るさレベル］：ランプ個体の明るさがそれぞれ異なるときに、ランプの明るさを1～5のレベルで調整します。［設定］メニューの［節電モード］を［オフ］に設定しているときのみ調整可能です。 ［エッジブレンディング］：各映像のつなぎ目を補正し、目立たなくします。 ☛「映像のつなぎ目を補正する（エッジブレンディング）」p.56 ［マルチスクリーン］：各映像の色合いや明るさの差を補正できます。 ☛「色合わせ(微調整)を行う」p.58 ［プロジェクターID］：1～9までのIDを設定します。［オフ］はIDを設定していない状態です。 ☛「IDの設定」p.27
スケジュール設定画面へ	プロジェクターが決まった時刻に特定の動作をするスケジュールを設定します。 ☛「スケジュール機能」p.69
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。

サブメニュー	機能
初期化	［拡張設定］メニューの調整値を初期値に戻します。ただし、以下の項目を除きます。 ［スクリーンタイプ］、［スクリーン位置］、［設置モード］、［設置角度］、［高地モード］、［リモコン種類］、［方向ボタン反転］ 、［起動時入力検出］、［A/Vミュート解除］、［レンズタイプ］、［A/V出力］、［モニター出力］、［待機モード］、［制御通信］、［マルチスクリーン］、［プロジェクターID］、［言語］ 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」p.102

※ ［パスワードプロテクト］の［ユーザーロゴ保護］を［オン］にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。［ユーザーロゴ保護］を［オフ］にしてから設定を変更してください。
☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」p.72

ネットワークメニュー

［パスワードプロテクト］の［ネットワーク保護］を［オン］に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。［ネットワーク保護］を［オフ］にしてからネットワークの設定を行ってください。

☛「パスワードプロテクトの設定方法」p.72

サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 無線LAN	以下のネットワーク設定状況を表示します。 • 接続モード • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード
ネットワーク情報 - 有線LAN	以下のネットワーク設定状況を表示します。 • プロジェクター名 • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス

サブメニュー	機能
ネットワーク設定画面へ	以下の項目についてネットワークの設定を行います。 ［基本設定］、［無線LAN］、［セキュリティー］、［有線LAN］、［管理者設定］、［初期化］

本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザーから本機の設定や制御が行えます。この機能をWeb制御と呼びます。Web制御はキーボードを使って設定内容を入力できるので、セキュリティーの設定など文字の入力を伴う設定も容易に行えます。

☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145

ネットワークメニュー操作上のご注意

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず［設定完了］メニューを選択して、［はい］、［いいえ］、［キャンセル］のいずれかを選択します。［はい］または［いいえ］を選択すると、環境設定メニューに戻ります。

［はい］： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。

［いいえ］： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。

［キャンセル］： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで目的のキーにカーソルを移動し、【↵】ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの［Finish］を選択すると入力が確定します。キーボードの［Cancel］を選択すると入力は取り消されます。

- ［CAPS］キーを選択して【↵】ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。
- ［SYM1/2］キーを選択して【↵】ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。

入力できる文字の種類は以下のとおりです。

数字	0123456789

アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! # $ % & ' ( ) + - . / < = > ? @ [¥] ^ _ { | } ~

- ネットワークメニューの項目に、: を使用することはできません。
- [SSID]を除き、ネットワークメニューの項目に、スペースを使用することはできません。
- 以下の4文字はソフトキーボードで入力できません。Webブラウザーを使って入力してください。
  “ * , ;
  ☛ 「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145

基本設定メニュー

サブメニュー	機能
プロジェクター名	添付のアプリケーションソフトEasyMP Network ProjectionやEasyMP Multi PC Projection使用時に表示される本機の名称です。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。（"* + , / ; < = > ? [¥] ` | は使用不可。）
Web Remoteパスワード	Web Remoteを使用するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。（* は使用不可。） Web Remoteはネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザーを利用して、コンピューターから本機のリモコン操作をする機能です。 ☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145

サブメニュー	機能
プロジェクターキーワード	［オン］に設定していると、本機とコンピューターをネットワークで接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。これにより他のコンピューターからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常は［オン］に設定してお使いください。 ☛『EasyMP Network Projection操作ガイド』 ☛『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』

無線LANメニュー

本機とコンピューターを無線LANで接続するときは、無線LANユニット(ELPAP07)を本機に取り付けてください。

☛「無線LANユニットの取り付け」p.38

サブメニュー	機能
無線LAN電源	本機とコンピューターを無線LANで接続するときは［オン］に設定します。無線LANで接続しないときは、［オフ］に設定しておくと他人からの不正なアクセス等を防ぐことができます。
Wi-Fi Protected Setup	WPS（Wi-Fi Protected Setup）対応の無線LANアクセスポイントを経由してネットワークに接続するときに設定します。本機とアクセスポイント間の接続とセキュリティーの設定を簡単に行うことができます。 ☛「WPS（Wi-Fi Protected Setup）で無線LANアクセスポイントに接続する」p.142
無線LAN方式	無線LAN方式を設定します。通常は、**802.11b/g/n**を選択してください。アクセスポイントの設定に応じて自動的に接続方式を選択します。 802.11nに対応していない地域では、**802.11b/g**のみ表示されます。

サブメニュー	機能
接続モード	本機とコンピューターを無線LANで接続するときの接続モードを設定します。 [かんたんモード]を選択すると、プロジェクターとコンピューターによる小規模なネットワークを自動的に構成します。EasyMP Network Projectionと組み合わせて用います。[自動SSID設定]が[オン]の場合は、プロジェクターが簡易なアクセスポイントとなり、[オフ]の場合はアドホックモードで構成されます。 [マニュアルモード]を選択すると、設置されているアクセスポイントとインフラストラクチャーモードで接続します。
自動SSID設定	接続モードを[かんたんモード]に設定しているときは、[オン]に設定すると複数のプロジェクターの中からより早く本機を検索することができます。SSIDは自動的に設定されます。 かんたんモードで1台のコンピューターから複数のプロジェクターに接続するときは、[オフ]に設定し、接続する全てのプロジェクターに同一のSSIDを設定してください。
SSID	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。(^は使用不可。)SSIDを空欄またはANYに設定することでANY接続を行います。
アクセスポイント検索	接続モードを[マニュアルモード]に設定しているときは、周囲のアクセスポイントを検索し、その中から接続するSSIDを指定できます。アクセスポイントの設定によっては一覧に表示されない場合があります。セキュリティーは別途設定が必要です。 ☛「アクセスポイント検索画面」p.94
チャンネル設定	かんたんモードで接続するときに使用するチャンネルを選択できます。他の電波の干渉を受けるときは、別のチャンネルに設定してください。
SSID表示	LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、[オフ]に設定します。

サブメニュー	機能
DHCP	DHCPを使用する([オン])/しない([オフ])を設定します。 ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。
地域コード	無線LANモジュールに固有の文字列です。

アクセスポイント検索画面

検出されたアクセスポイントが一覧で表示されます。

サブメニュー	機能
更新	アクセスポイントを再検出します。
	すでに設定済みのアクセスポイントを表します。
	セキュリティーが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティーが設定されていないアクセスポイントを選択すると、無線LANメニューに移行します。 セキュリティーが設定されているアクセスポイントを選択すると、セキュリティーメニューに移行します。アクセスポイントのセキュリティー設定に応じて、設定するセキュリティーの種類を選択してください。

セキュリティーメニュー

無線LANユニットを装着してお使いの際は、セキュリティーの設定を行うことをお奨めします。

サブメニュー	機能
セキュリティー	設定するセキュリティーの種類を選択します。 • かんたんモード時 ［Open］: セキュリティーを設定しません。 ［WPA2-PSK(AES)］（［自動SSID設定］が［オン］の場合のみ): WPA2によるセキュリティーを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。 • マニュアルモード時 ［Open］: セキュリティーを設定しません。 ［WPA2-PSK(AES)］: WPAパーソナルモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。 ［WPA/WPA2-EAP］: WPAエンタープライズモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。LEAPを用いるときはこの項目を選択します。

本機はWEPを暗号化方式として設定することはできません。

WPA/WPA2-PSK選択時

サブメニュー	機能
パスフレーズ	パスフレーズを入力します。半角英数字で8文字以上、最大63文字まで入力できます。パスフレーズを入力し、【↵】ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示されます。 EasyMP Network Projectionと組み合わせて使う場合、初期状態のパスフレーズであればコンピューター側でのパスフレーズ入力を省略することができます。 セキュリティーを確保するために、パスフレーズは定期的に変更することをお奨めします。ネットワーク設定の初期化を行うと、初期状態のパスフレーズに戻ります。 ☛「初期化メニュー」p.101 環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。 ☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145 かんたんモード時には、初期状態でパスフレーズが設定されています。

WPA/WPA2-EAP選択時

サブメニュー	機能
EAP設定	認証用プロトコルを設定します。 ［PEAP］: Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。 ［PEAP-TLS］: Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に設定します。 ［EAP-TLS］: 一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。 ［EAP-Fast］、［LEAP］: これらの認証プロトコルが使用されているときに指定します。

サブメニュー	機能
ユーザー名	認証に使用するユーザー名を入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。 PEAP-TLS、EAP-TLS選択時は、クライアント証明書から自動的に取得されたユーザー名が表示されます。認証サーバーの要求により、別のユーザー名を指定する必要があるときは、変更することができます。 環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。 ☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145 ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します。
パスワード	認証に使用するパスワードを入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、［Finish］を選択すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。 環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。 ☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145
クライアント証明書	格納済みのクライアント証明書に設定された［発行先］、［発行者］、［有効期間］を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。
サーバー証明書の検証	［オン］に設定すると、認証サーバーの証明書の正当性を検証します。サーバー証明書を検証するためのCA証明書を設定する必要があります。 ☛「証明書の設定をする」p.146
CA証明書	格納済みのCA証明書に設定された［発行先］、［発行者］、［有効期間］を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。

サブメニュー	機能
認証サーバー名の指定	［オン］に設定すると、サーバー証明書の検証時に認証サーバー名を確認します。サーバー名を指定することで、不正な認証サーバーに接続するリスクを低減します。
認証サーバー名	認証サーバーの名前を指定します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。（^ は使用不可。）
サーバー証明書の有効期限検証	［オン］に設定すると、サーバー証明書の検証時に証明書の有効期限を確認します。

有線LANメニュー

サブメニュー	機能
DHCP	DHCP▶▶を使用する（［オン］）/しない（［オフ］）を設定します。 ここで［オン］に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。

サブメニュー	機能
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス▶▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
サブネットマスク	本機のサブネットマスク▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、［オフ］に設定します。

管理者設定メニュー

サブメニュー	機能
管理者パスワード	ネットワーク設定の管理者設定メニューに対するパスワードを入力します。 半角英数字で最大16文字まで入力できます。（* は使用不可。） 管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワードは空白のままで［OK］を押してください。
ネットワークホスト名	ネットワーク上で本機を識別するための名称です。Web制御や「ネットワークプロジェクターへの接続」などで使用します。 変更するときは、半角英数字15文字以内で入力します。（記号は - _ のみ使用可。最初の文字はアルファベット、最後の文字はアルファベットか数字であること。）
PJLinkパスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。（記号は使用不可。） ☛「PJLinkについて」p.151

サブメニュー	機能
Web制御パスワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。（* は使用不可。）Web制御はネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザーを利用して、コンピューターから本機を設定・制御する機能です。 ☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145
Monitorパスワード	EasyMP Monitorを使用するときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で最大16文字まで入力できます。（* は使用不可。）
セキュアHTTP	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティーを強化します。セキュリティーの設定をWeb制御で行う場合は、［オン］に設定することをお奨めします。
メール通知機能	メール通知機能の設定メニューに移行します。 ☛「メール通知機能メニュー」p.99
証明書管理	証明書管理の設定メニューに移行します。 ☛「証明書管理メニュー」p.100
SNMP	SNMPの設定メニューに移行します。 ☛「SNMPメニュー」p.101
優先ゲートウェイ	優先ゲートウェイを［有線］/［無線］のどちらにするか選択します。
AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいときは［オン］に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、［オフ］に設定してください。

サブメニュー	機能
Crestron RoomView	Crestron RoomView®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通常は[オフ]に設定してください。 ☛「Crestron RoomView®について」p.152 設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。 [オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれません。 • Web制御 • Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	Bonjourによるネットワーク接続を行うときは [オン]に設定します。Bonjourサービスの詳しい説明については、Apple社のWebサイトをご覧ください。 http://www.apple.com/
EPSON Message Broadcasting	EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。 ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。 http://www.epson.jp/download/

メール通知機能メニュー

プロジェクターが異常／警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

☛「異常通知メールの見方」p.148

サブメニュー	機能
メール通知機能	[オン]にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
メールアドレス1/メールアドレス2/メールアドレス3	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大64文字まで入力できます。（"(),;<>[¥]は使用不可。） 環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。 ☛「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145 通知メールの送信元は宛先1のアドレスです。

サブメニュー	機能
通知イベントの指定	メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、［メールアドレス］で指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。

証明書管理メニュー

サブメニュー	機能
クライアント証明書	格納済みのクライアント証明書に設定された［発行先］、［発行者］、［有効期間］を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。クライアント証明書の設定は、［セキュリティー］で［WPA/WPA2-EAP］選択時、［EAP設定］で［PEAP-TLS］、［EAP-TLS］を選択しているときに必要です。 ［削除］を選択すると、格納された証明書を削除します。
CA証明書	格納済みのCA証明書に設定された［発行先］、［発行者］、［有効期間］を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。CA証明書の設定は、［セキュリティー］で［WPA/WPA2-EAP］選択時に、認証サーバーの証明書の認証を行うときに必要です。 ［削除］を選択すると、格納された証明書を削除します。
自己署名証明書	（［セキュアHTTP］を［オン］に設定しているときのみ） 本機に内蔵されたサーバー機能が保持する証明書の［発行先］、［発行者］、［有効期間］を表示します。Webサーバー証明書が設定されているときは表示されません。 ［更新］を選択すると、自己署名証明書を更新します。
Webサーバー証明書	（［セキュアHTTP］を［オン］に設定しているときのみ） 本機に設定された証明書の［発行先］、［発行者］、［有効期間］を表示します。自己署名証明書が設定されているときは表示されません。 ［削除］を選択すると、格納された証明書を削除します。

証明書の設定はWeb制御を使って行います。
☛「証明書の設定をする」p.146

SNMPメニュー

サブメニュー	機能
SNMP	［オン］にすると、SNMP▶▶を使用して本機の監視をします。本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。初期値は［オフ］に設定されています。
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。 ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
コミュニティー名	SNMPのコミュニティー名を設定します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。（記号は @ のみ使用可。）

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。

サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは［はい］を選択します。 初期化を実行すると、パスフレーズや管理者パスワード、証明書管理メニューの設定も初期値に戻り、証明書は削除されます。 初期化した後は、基本設定メニューに移行します。

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が異なります。

サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示しています。 ランプ交換の目安時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	[映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	[映像]メニューの[ビデオ信号方式]の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレート▶▶を表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。 ☛「Event IDについて」p.122

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー

サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [入力信号方式]、[ユーザーロゴ]、[ネットワーク]メニューの全項目、[ランプ点灯時間]、[言語]、[パスワード]、[マルチスクリーン]、[日付&時刻]、[液晶アライメント]、[ユニフォーミティー]は初期値に戻りません。

サブメニュー	機能
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアします。ランプを交換したときに行ってください。
メモリー初期化	［メモリー登録］で登録した名称と設定値を初期化します。 ☛「メモリー機能」p.67

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

1 **【ヘルプ】ボタンを押します。**

ヘルプ画面が表示されます。

リモコン

2 **項目を選択します。**

リモコン

3 **項目を決定します。**

リモコン

以下の画面のように質問と対処法が表示されます。

【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。

ヘルプ機能を使ってもわからないときは、以下をご覧ください。

☛「故障かなと思ったら」p.106

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケーターをご覧になり下記の「インジケーターの見方」で本機の状態をご確認ください。

インジケーターをご覧になってもわからないときは、以下をご覧ください。

☛「インジケーターを見てもわからないとき」p.111

インジケーターの見方

本機には、次の4種類のインジケーターがあり本機の状態をお知らせします。

❶ パワーインジケーター　　動作状態をお知らせします。

スタンバイ状態
この状態でリモコンの【⏻】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押すと投写を開始します。

ネットワーク監視準備中または、クールダウン中
点滅中はすべてのボタン操作ができません。

ウォームアップ中
ウォームアップの時間は約30秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
ウォームアップ中は【⏻】ボタンを押しても、機能しません。
投写中

❷ ランプインジケーター　ランプの状態をお知らせします。
❸ 温度インジケーター　内部温度の状態をお知らせします。
❹ フィルターインジケーター　エアフィルターの状態をお知らせします。

インジケーターの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケーターがすべて消灯している場合は、電源コードが正しく接続されていないか、または電気が十分に供給されていません。

電源コードを抜いても【⏻】インジケーターがしばらく点灯したままになることがありますが故障ではありません。

：点灯　：点滅　：消灯　：本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
⏻ 点灯 ☼ 点滅 🌡 点滅 ▥ 消灯	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』
⏻ 点灯 ☼ 消灯 🌡 点滅 ▥ 消灯	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』

状態	原因	処置または状態
⏻ 赤 ☼ 消灯 🌡 赤 ▥ 消灯	内部高温異常 （オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125 ☛「エアフィルターの交換」p.131 上記を確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、［高地モード］を［オン］にしてください。 ☛「拡張設定メニュー」p.85
⏻ 赤 ☼ 赤点滅 🌡 消灯 ▥ 消灯	ランプ異常 ランプ点灯失敗	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、次の2点を確認してください。 • ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 ☛「ランプの交換」p.128 • エアフィルターを掃除します。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125
		割れていないとき：ランプを再セットして、電源プラグをコンセントに接続します。 **それでもエラーになるとき**：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』
		割れているとき：お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください（ランプを交換しないと映像を投写することはできません）。 ☛『お問い合わせ先』
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、［高地モード］を［オン］にしてください。 ☛「拡張設定メニュー」p.85
⏻ 赤点滅 ☼ 赤点滅 🌡 赤点滅 ▥ 消灯	オートアイリス異常 電源系異常(バラスト)	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』

状態	原因	処置または状態
	フィルター風量低下異常	次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125 ☛「エアフィルターの交換」p.131 確認後、再び電源プラグをコンセントに接続します。 上記を確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』
	高温警告	異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしている場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125 ☛「エアフィルターの交換」p.131
	ランプ交換勧告	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、新しいランプに交換してください。 ☛「ランプの交換」p.128 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。
	エアフィルター風量低下	次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125 ☛「エアフィルターの交換」p.131 上記を確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』

状態	原因	処置または状態
⏻ ☼ 🌡 ▥	エアフィルター清掃通知	「エアフィルターの清掃時期です。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示されます。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、エアフィルターの掃除をしてください。 ☛「エアフィルターの掃除」p.125 エアフィルター清掃通知のインジケーターやメッセージは、環境設定メニューの［エアフィルター清掃通知］を［オン］に設定しているときに表示されます。 ☛［拡張設定］-［表示設定］-［エアフィルター清掃通知］p.85

- インジケーターは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、以下をご覧ください。
  ☛「インジケーターを見てもわからないとき」p.111
- 各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
  ☛『お問い合わせ先』

インジケーターを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

• **映像が表示されない** 投写を開始しない、真っ黒の映像になる、青い映像になる	☛p.112
• **動画が表示されない** コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない、コンピューターで動画が再生されない。	☛p.112
• **自動的に投写が消える**	☛p.113
• **「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される**	☛p.113
• **「映像信号が入力されていません。」と表示される**	☛p.113
• **ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ**	☛p.114
• **ノイズが入る、乱れる**	☛p.114
• **映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない、反転している** 映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくない、映像の上下左右が反転している	☛p.115
• **色合いが違う** 全体が赤紫がかっている、緑色がかっている、モノクロになる、色がくすむ	☛p.116
• **暗い**	☛p.117

投写開始時のトラブル

• **電源が入らない**	☛p.117

その他のトラブル

• **音が出ない、小さすぎる**	☛p.118
• **リモコンで操作できない**	☛p.119
• **外部モニターに表示されない**	☛p.120
• **メッセージやメニューの言語を変更したい**	☛p.120
• **無線LANの認証設定ができない**	☛p.120
• **プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない**	☛p.120
• **「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される**	☛p.121
• **Webブラウザーを使って設定を変更できない**	☛p.121

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
リモコンの【Ⓘ】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押しましたか？	リモコンの【Ⓘ】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 本機に電源コードを正しく接続してください。 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☛［初期化］-［全初期化］p.102
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ （コンピューター投写時のみ）	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ （ビデオ機器投写時のみ）	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛［映像］-［ビデオ信号方式］p.82
Windows Media Centerを全画面表示にしていませんか？ （ネットワーク接続時のみ）	Windows Media Centerを全画面で表示すると、ネットワーク接続で投写できません。縮小画面表示にしてください。
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ （ネットワーク接続時のみ）	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。

動画が表示されない

確認	対処法
コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ （ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ）	コンピューター側の映像信号を外部のみの出力に切り替えます。コンピューターに添付の取扱説明書、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。

確認	対処法
動画コンテンツが著作権保護されていませんか？	著作権保護された動画コンテンツをコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

自動的に投写が消える

確認	対処法
［スリープモード］を［オン］にしていませんか？	リモコンの【⏻】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定を［オフ］にしてください。 ☛［拡張設定］-［動作設定］-［スリープモード］p.85

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ （ビデオ機器投写時のみ）	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛［映像］-［ビデオ信号方式］p.82
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ （コンピューター投写時のみ）	コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。 ☛「対応解像度一覧」p.168

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。
接続した入力端子を正しく選択していますか？	【入力検出】ボタンまたは【Source Search】ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。

確認	対処法
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ （ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ）	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFnキー（ファンクションキー）が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 ☛ コンピューターの取扱説明書など

ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスリングでピントを合わせます。 ☛「ピントのズレを補正する」p.25
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。 ☛「スクリーンサイズと投写距離」p.157
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。
オプションの短焦点レンズ（ELPLU01）をお使いですか？	環境設定メニューの［レンズタイプ］を［ELPLU01］に設定してください。 ☛［拡張設定］-［動作設定］-［レンズタイプ］p.85 ピントの調整方法は以下を参照してください。 ☛「短焦点レンズELPLU01をお使いのとき」p.25

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ （ビデオ機器投写時のみ）	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛［映像］-［ビデオ信号方式］p.82
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛「接続する」p.31

確認	対処法
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ （コンピューター投写時のみ）	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛「対応解像度一覧」p.168 ☛ コンピューターの取扱説明書など
同期・トラッキングは正しく調整されていますか？ （コンピューター投写時のみ）	リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューから調整することもできます。 ☛［映像］-［トラッキング］、［同期］p.82
［入力解像度］を［オート］以外に設定していますか？ （2画面投写時のみ）	環境設定メニューの［入力解像度］で設定している解像度と、投写している映像の入力解像度が異なるときは、映像が乱れることがあります。 映像が乱れるときは［入力解像度］を［オート］に設定してください。 ☛［映像］-［入力解像度］p.82

映像が切れる（大きい）、小さい、アスペクトが合っていない、反転している

確認	対処法
［スクリーン設定］を正しく設定していますか？	お使いのスクリーンに合わせて［スクリーン設定］を設定してください。 ☛「スクリーン設定」p.22
アスペクトは正しく設定されていますか？	【アスペクト】ボタンを押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.47
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ （コンピューター投写時のみ）	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛［映像］-［入力解像度］p.82
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの【戻る】ボタンを押してEズーム機能を解除します。 ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」p.65
［表示倍率変更］を［オン］に設定していませんか？	環境設定メニューの［表示倍率変更］を［オフ］にしてください。 ☛［映像］-［表示倍率変更］p.82
表示位置は正しく調整されていますか？	（Computer入力端子から入力しているアナログRGB信号の投写時のみ） リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押して、表示位置を調整します。 表示位置は環境設定メニューからも調整できます。 ☛［映像］-［表示位置］p.82

確認	対処法
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ （コンピューター投写時のみ）	接続しているコンピューターのコントロールパネルの［画面のプロパティ］でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピューターのビデオドライバーの取扱説明書
解像度の選択は正しいですか？ （コンピューター投写時のみ）	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛「対応解像度一覧」p.168 ☛ コンピューターの取扱説明書など
映像の向きは正しいですか？	環境設定メニューの［設置モード］で正しく設定してください。 ☛「設置条件」p.20

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 • Computer入力端子、BNC入力端子に接続した機器の映像のとき ☛［映像］-［入力信号方式］p.82 • Video入力端子、S-Video入力端子に接続した機器の映像のとき ☛［映像］-［ビデオ信号方式］p.82
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの［明るさ］を調整してください。 ☛［画質調整］-［明るさ］p.81
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。 ☛「接続する」p.31
コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの［コントラスト］を調整してください。 ☛［画質調整］-［コントラスト］p.81
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの［ガンマ］、［RGB］、［RGBCMY］を調整してください。 ☛［画質調整］-［アドバンスト］p.81 ☛「画質を調整する」p.50
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ （ビデオ機器投写時のみ）	環境設定メニューの［色の濃さ］、［色合い］を調整してください。 ☛［画質調整］-［色の濃さ］、［色合い］p.81

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューから[明るさ]や[節電モード]の設定を確認してください。 ☛ [画質調整] - [明るさ] p.81 ☛ [設定] - [節電モード] p.84
コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？	環境設定メニューから[コントラスト]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [コントラスト] p.81
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛「ランプの交換」p.128
本機を単体でお使いですか？	以下の項目を暗く設定していないかご確認ください。 ☛ [拡張設定] - [マルチプロジェクション] - [明るさレベル] p.85 ☛ [拡張設定] - [マルチプロジェクション] - [マルチスクリーン] p.85

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
リモコンの【⏻】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押しましたか？	リモコンの【⏻】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 電源コードを抜いて差し直してください。 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源コードを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源コードが接触不良を起こしているか、電源コードが故障している可能性があります。電源コードを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛『お問い合わせ先』

確認	対処法
［操作ボタンロック］が［全ロック］になっていませんか？	リモコンの【Ⓘ】ボタンを押します。［操作ボタンロック］を働かせないときは設定を［オフ］にしてください。 ☛「操作ボタンロック」p.74
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの［リモコン受光部］の設定を確認してください。 ☛［設定］-［リモコン受光部］p.84
ダイレクトパワーオフをした直後に電源ケーブルのプラグを挿し直したかブレーカーをオンにしていませんか？	［ダイレクトパワーオン］を［オン］に設定しているときに左記の操作をすると電源が入らないことがあります。リモコンの【Ⓘ】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押すと電源が入ります。
リモコンの【ID】スイッチがOnになっていませんか？	OnになっているとIDが一致するプロジェクターだけが操作対象になります。【ID】スイッチをOffにしてください。 ☛「リモコンIDを設定する」p.28
ランプカバーやランプは正しく装着されていますか？	本機は、ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。装着の状態を確認してください。 ☛「ランプの交換方法」p.129

その他のトラブル

音が出ない、小さすぎる

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。
プロジェクターの音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛［設定］-［音量］p.84 ☛「音量を調整する」p.42
コンピューターまたは映像機器の音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音声が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。

確認	対処法
音声入力は正しく選択されていますか？	環境設定メニューの［音声出力設定］の設定を確認してください。 ☛［拡張設定］-［A/V出力設定］-［音声出力設定］p.85

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 ☛「リモコンの操作可能範囲」p.15
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約15mです。 ☛「リモコンの操作可能範囲」p.15
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。
［リモコン受光部］の設定は正しいですか？	環境設定メニューの［リモコン受光部］の設定を確認してください。 ☛［設定］-［リモコン受光部］p.84
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☛「リモコンの電池交換」p.14
リモコンIDはプロジェクターIDと一致していますか？	操作したいプロジェクターのIDとリモコンのIDを一致させてください。IDの設定に関わらずすべてのプロジェクターをリモコンで操作できるようにするには、リモコンの【ID】スイッチをOffにします。 ☛「IDの設定」p.27
［リモコン種類］の設定と使用しているリモコンは一致していますか？	環境設定メニューの［リモコン種類］の設定を確認してください。 ☛［拡張設定］-［動作設定］-［リモコン種類］p.85
本機のRemote端子にオプションのリモコンケーブルを接続していませんか？	リモコンケーブルが差し込まれていると本機のリモコン受光部が働かなくなります。リモコンケーブルセットを使用しないときは、リモコンケーブルをRemote端子から取り外してください。
［制御通信］が［オン］になっていませんか？（EB-G6750WUのみ）	Remote端子が無効です。オプションのリモコンケーブルセットをお使いになるときは、［制御通信］を［オフ］に設定してください。 ☛［拡張設定］-［HDBaseT設定］-［制御通信］p.85
リモコンボタンロックが設定されていませんか？	リモコンボタンロックが設定されていると、基本操作に必要なボタン以外は無効になります。リモコンの【ヘルプ】ボタンを長押しして、リモコンボタンロックを解除してください。 ☛「リモコンボタンロック」p.75

外部モニターに表示されない

確認	対処法
Computer入力端子、BNC入力端子以外から入力している映像を表示させようとしていませんか？	外部モニターに表示できる映像はComputer入力端子、BNC入力端子からのRGB信号のみです。
2画面で投写していますか？	外部モニターに表示できる映像は、左画面で投写しているComputer入力端子、BNC入力端子からのRGB信号のみです。 ☛「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」p.61
本機がスタンバイ状態ですか？	環境設定メニューの［待機モード］、［A/V出力］、［モニター出力］が正しく設定されているか確認してください。 ☛［拡張設定］-［待機モード］p.85 ☛［拡張設定］-［A/V出力設定］p.85

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの言語で目的の言語を選択してください。 ☛［拡張設定］-［言語］p.85

無線LANの認証設定ができない

確認	対処法
時刻は正しく設定されていますか？	無線LANが正しく設定されているにもかかわらず、認証設定ができないときは、時刻の設定が正しくない可能性があります。正しく設定されているか確認してください。 ☛「時刻の設定」p.29

プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
［待機モード］を［通信オン］に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの［待機モード］を［通信オン］に設定します。 ☛［拡張設定］-［待機モード］p.85

確認	対処法
致命的な異常が発生し、本機が瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 本機を確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』
本機に電源が供給されていますか？	本機が設置されている地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューでメール通知機能が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの［メール］の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 ☛「管理者設定メニュー」p.98

「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される

確認	対処法
時刻を保持する内部電源の残量が低下している。	お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』

Webブラウザーを使って設定を変更できない

確認	対処法
ユーザーID、パスワードは正しいですか？	ユーザーIDには「EPSONWEB」を入力します。変更はできません。パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。 パスワードは、Web制御パスワードで設定した文字を入力します。パスワードの初期設定は「admin」です。

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☛『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。 ☛「セキュリティーメニュー」p.94
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか、またはLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛「ネットワークメニュー」p.89
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ☛『お問い合わせ先』
089A	EAP認証タイプが不一致です。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。 ☛「セキュリティーメニュー」p.94
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	

Event ID	要因	対処法
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。	
089D	鍵交換が失敗しました。	

メンテナンス

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

⚠ 注意

掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

⚠ 警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたり、フィルターインジケーターが緑色に点滅するときは、エアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

「エアフィルターの清掃時期です。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

「エアフィルターが目詰まりしています。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいものを使用し、軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入ってしまい取れなくなります。

エアフィルターの清掃方法

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 **本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。**

2 **エアフィルターカバーを開けます。**

エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、フィルターカバーを開けます。

3 **エアフィルターを取り外します。**

エアフィルター中央の突起をつまみ、外側にまっすぐ引き出します。

4 **エアフィルターの表側(取り出し用のツマミのある面)を下にして、4〜5回たたいてホコリを落とします。**

持ち替えて、手で持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。

注意

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

5 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。

6 エアフィルターを取り付けます。

カチッと音がするまで押し込みます。

7 エアフィルターカバーを閉めます。

- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。
  ☛「エアフィルターの交換」p.131
- 約3か月に一度は掃除を行うことをお奨めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルター清掃通知のインジケーターやメッセージは、環境設定メニューの[エアフィルター清掃通知]を[オン]に設定しているときに表示されます。
  ☛［拡張設定］-［表示設定］-［エアフィルター清掃通知］p.85

ここでは、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

ランプの交換

ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 以下のメッセージが表示されたとき
  「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」

  メッセージは30秒経過すると消えます。

- ランプインジケーターがオレンジ色に点滅したとき

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
  EB-G6750WU/EB-G6350/EB-G6250Wの場合
  ［節電モード］：［オフ］で使い続けた場合：約1900時間
  ［節電モード］：［オン］で使い続けた場合：約3900時間
  EB-G6550WUの場合
  ［節電モード］：［オフ］で使い続けた場合：約2400時間
  ［節電モード］：［オン］で使い続けた場合：約3900時間
  EB-G6050Wの場合
  ［節電モード］：［オフ］で使い続けた場合：約2900時間
  ［節電モード］：［オン］で使い続けた場合：約3900時間
  ☛ ［設定］-［節電モード］p.84
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のものを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

- ランプを交換するときに、エアフィルターの掃除をおすすめします。
  ☛「エアフィルターの掃除」p.125
- エアフィルターが変色していたり、掃除をしてもメッセージが頻繁に表示される場合は、エアフィルターを交換してください。
  ☛「エアフィルターの交換」p.131

ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

⚠ 警告

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ランプの分解•改造は、絶対にしないでください。分解•改造したランプをセットして本機を使用すると、火災•感電•事故の原因となります。

⚠ 注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

1 **本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。**

2 **ランプが十分冷えてから、本機側面のランプカバーを外します。**

ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または＋のドライバーでゆるめ、 ランプカバーを取り外します。ランプカバーには落下防止のひもがついていますので、天吊り時に交換する際も外れて落ちることはありません。

3 **ランプ固定ネジ2本をゆるめます。**

4 **古いランプを取っ手をつまんで取り出します。**

ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または「お問い合わせ先」に記載の連絡先にご相談ください。

☛『お問い合わせ先』

5 **新しいランプを取り付けます。**

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。

6 **ランプ固定ねじ2本を締めます。**

7 **ランプカバーを取り付けます。**

注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューで［ランプ点灯時間］の累計を初期化してください。

☛「初期化メニュー」p.102

［ランプ点灯時間］の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは、エアフィルターを交換してください。

エアフィルターの交換方法

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 **本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。**

2 **エアフィルターカバーを開けます。**

エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、フィルターカバーを開けます。

3 **エアフィルターを取り外します。**

エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。

4 **新しいエアフィルターを取り付けます。**

カチッと音がするまで押し込みます。

5 **エアフィルターカバーを閉めます。**

使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。
枠部分の材質：ポリプロピレン
フィルター部分の材質：ポリプロピレン

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

以下の点を確認して、静かに移動してください。

- 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- レンズにカバーを取り付けてください。

注意

本機は重いので、1人で運ばないでください。
開梱や移動の際は2人以上で運んでください。

輸送する場合

梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、以下の準備を行ってから梱包してください。

- 標準レンズ以外のオプションレンズを装着しているときは、レンズユニットを取り外してください。レンズ付きモデルの場合は、標準レンズを取り付けてください。レンズなしモデルの場合は、購入時に本機のレンズ装着部に付いていたカバーを取り付けてください。
- 上下レンズシフトを最下位置に設定してください。
  ☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.24

- 購入時にセットされていたレンズ保護パッドを装着してください。

梱包と輸送の注意

運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固なダンボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。

液晶アライメント

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。水平方向、垂直方向に0.25画素ずつ、それぞれ±1画素の範囲内で調整できます。

- 液晶アライメントで調整後は映像が劣化する場合があります。
- 画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

2 ［拡張設定］から［表示設定］を選択します。

3 ［液晶アライメント］を選択し、【↵】ボタンを押します。

4 ［液晶アライメント］を有効にします。

(1) ［液晶アライメント］を選択し、【↵】ボタンを押します。
(2) ［オン］を選択し、【↵】ボタンを押します。
(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

5 調整する色を選びます。

(1) ［調整色］を選択し、【↵】ボタンを押します。
(2) ［R］（赤）、［B］（青）のいずれかを選択し、【↵】ボタンを押します。
(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

6 ［パターン色］で調整時に表示する格子の色を選びます。

(1) ［パターン色］を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) 格子の色をR(赤)、G(緑)、B(青)の組み合わせで選びます。
［R/G/B］：R、G、Bの3色で表示します。実際の格子の色は白になります。
［R/G］：［調整色］を［R］にしているときに選択できます。R、Gの2色で表示します。実際の格子の色は黄色になります。
［G/B］：調整色を［B］にしているときに選択できます。G、Bの2色で表示します。実際の格子の色はシアンになります。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

7 **［調整開始］を選択し、【↵】ボタンを押します。メッセージが表示されるので、もう一度、【↵】ボタンを押します。**

調整が始まります。調整は左上から順に4隅で行います。

> 調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

8 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整し、【↵】ボタンを押して次の調整ポイントへ進みます。**

9 **4隅の調整後、［終了］を選択し、【↵】ボタンを押します。**

4点での調整が不十分の場合は、［交点を選択して調整］を選択して調整を続けます。

ユニフォーミティー

画面全体の色味を調整します。

> ユニフォーミティーを調整後も色味が均一にならない場合があります。

1 **投写中に【メニュー】ボタンを押します。**

2 **［拡張設定］から［表示設定］を選択します。**

3 **［ユニフォーミティー］を選択し、【↵】ボタンを押します。**

以下の画面が表示されます。

［調整レベル］：白 - グレー - 黒まで5つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

［調整開始］：ユニフォーミティーの調整を開始します。

［初期化］：［ユニフォーミティー］の調整値、設定値をすべて初期値に戻します。

［ユニフォーミティー］を調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

4 **［調整レベル］を選択し、【↵】ボタンを押します。**

5 **【◀】【▶】ボタンで調整レベルを設定します。**

6 **【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。**

7 **［調整開始］を選択し、【↵】ボタンを押します。**

8 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整する箇所を選択し、【↵】ボタンを押します。**

中央を選択すると画面全体に対して調整を行います。先に周囲を調整してから、最後に画面全体を調整してください。

9 **【▲】【▼】ボタンで調整する色を選び、【◀】【▶】ボタンで調整します。**

【◀】ボタンを押すと色味が弱くなります。【▶】ボタンを押すと色味が強くなります。

10 **手順4に戻り、それぞれのレベルで調整を行います。**

11 **調整を終了するには、【メニュー】ボタンを押します。**

レンズバランス調整

プロジェクターの設置角度や装着しているレンズユニットの重さにより、レンズが傾く場合があります。レンズが傾くとピントが均一ではなくなります。投写映像に、ピントが合う箇所と合わない箇所が発生するときは、レンズバランスを調整します。

レンズバランスの調整には特別な技術が必要です。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

⚠ 警告

レンズバランスを調整するときは必ず取扱説明書の手順に従って行い、光が目に入らないようにしてください。正しい手順で行わないと強い光が目に入り、視力障害などの原因となります。

1 **本機の電源をオンにしているときは、オフにします。**

2 **投写レンズユニットを取り外します。**

☛「取り外し方」p.17

3 **レンズ装着部下(レンズシフトダイヤルと反対側)のツメをドライバーなどで押しながら、カバーを取り外します。**

天吊り設置時のイラストです。

4 **内蓋のツメ2ヶ所を矢印方向に押しながら、内蓋を取り外します。**

5 **＋ドライバー(#1)を使って固定ネジ(4ケ所)を取り外します。**

注意

取り外したネジは輸送時に必要です。安全な場所に保管してください。

6 **ボールポイント6角レンチを使ってロックネジ(3ヶ所)を1/4回転(45°)ゆるめます。**

注意
ロックネジは1/4回転(45°)以上ゆるめないでください。故障の原因となります。

7 **投写レンズユニットを取り付けます。**
☛「取り付け方」p.16

8 **レンズをのぞき込まないように注意して、本機の電源をオンにします。**

9 **リモコンの【テストパターン】ボタンまたは操作パネルの【▦】ボタンを押して、テストパターンを表示します。**
リモコンの【◀】【▶】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押して、テストパターンを切り替えます。

以下のテストパターンがレンズバランスの調整に適しています。

10 **フォーカスリングでピントを調整します。**
☛「ピントのズレを補正する」p.25
投写画面でピントの合う箇所合わない箇所を確認してください。

11 **【A/Vミュート】ボタンを押して、映像を一時的に消します。**

12 **ボールポイント6角レンチを調整ネジ穴に入れます。このときレンズをのぞき込まないように、レンズを手で隠しながら行います。**

13 **レンズの光が目に入らないようにプロジェクターの背面に移動し、【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。**

14 **リモコンの【テストパターン】ボタンまたは操作パネルの【▦】ボタンを押して、テストパターンを表示します。**

15 **調整ネジ穴に入れたボールポイント6角レンチを回して、レンズバランスを調整します。**

1 ゆるめる
2 締める

ネジをゆるめるとフォーカスが奥へ、ネジを締めるとフォーカスが手前に移動します。
プロジェクターの背面から見た場合、調整ネジと調整位置の関係は、おおよそ以下のとおりです。

16 **手順11～15を繰り返して調整します。**

調整するたびにフォーカスリングでピントを調整し、投写映像を確認してください。

17 **調整が終了したら本機の電源をオフにし、投写レンズユニットを取り外します。**

18 **ロックネジ(3ヶ所)を締めます。**

19 手順4を参照して内蓋を取り付け、手順3を参照してカバーを取り付けます。

20 投写レンズユニットを取り付けます。

注意

以下の作業をするときは、固定ネジを取り付けてからネジをすべて締めて初期状態に戻してください。

- 輸送をするとき
- 再びレンズバランスを調整するとき

初期状態に戻さないと、故障の原因となります。

付録

ここでは、ネットワークに関する補足的な機能について説明しています。

「ネットワークプロジェクターへの接続」で投写する

本機はWindows OSに搭載の「ネットワークプロジェクターへの接続」に対応しています。「ネットワークプロジェクターへの接続」について詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書またはMicrosoft社のWebサイトを参照してください。

- 事前にコンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしてください。
- 「ネットワークプロジェクターへの接続」で接続するときは、本機の入力ソースをLANに切り替えます。
- プロジェクターのパスワードを問い合わせる画面が表示されたときは、本機のLAN待機画面の下に表示されているキーワードを入力してください。
- 1台のコンピューターから接続できるプロジェクターは1台のみです。
- Windowsミーティング スペースのオプションからネットワークプロジェクターを実行するときは、お使いのコンピューターの画面の色を最高(32ビット)に設定してください。32ビットになっていないとメッセージが表示され接続することができません。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)で無線LANアクセスポイントに接続する

WPS▸▸の設定には以下の2通りの方式があります。

- プッシュボタン方式
  本機操作パネルの【↵】ボタンとアクセスポイント機器に搭載されている専用ボタンを押せば、SSIDとセキュリティーの設定が自動的に行われます。プロジェクターとアクセスポイントが近くにあるときはこの方式が向いています。
- PINコード方式
  プロジェクターにあらかじめ割り振られている8桁の数字をコンピューターを介してアクセスポイント機器へ入力することで、SSIDとセキュリティーの設定が自動的に行われます。コンピューターとアクセスポイント間は、事前に接続設定しておきます。接続方法はアクセスポイント機器の取扱説明書でご確認ください。プロジェクターを天吊り設置しているときは、この方式が向いています。

WPS以外の接続方法は、アクセスポイント機器の取扱説明書、ならびに以下をご覧ください。
☛「無線LANメニュー」p.92

接続設定の方法

1 【メニュー】ボタンを押します。
☛「環境設定メニューの操作」p.78

2 ［ネットワーク］から［ネットワーク設定画面へ］を選びます。

ネットワーク設定画面が表示されます。

3 ［無線LAN］から［設定ウィザードへ］を選びます。

以下の画面が表示されます。

画面の指示に従って設定します。

クイックワイヤレス用USBキーの使い方

オプション品のクイックワイヤレス用USBキーは無線LANユニット装着部に接続します。本機とコンピューターを無線LANで接続するときは、以下の点をご確認ください。

- 無線LANユニット（ELPAP07）が、本機に取り付けられている。
- 本機がネットワークに無線LANで接続できるよう設定されている。
  ☛「無線LANメニュー」p.92

1 **本機の電源を入れ、リモコンの【LAN】ボタンを押します。**

以下の画面が表示されます。

2 **SSIDとIPアドレス情報が表示されていることを確認し、無線LANユニットを取り外します。**

☛「無線LANユニットの取り付け」p.38

3 **クイックワイヤレス用USBキーを無線LANユニット装着部に差し込みます。**

4 **「ネットワーク情報の更新が終了しました。クイックワイヤレス用USBキーを取り外してください。」と表示されたら、クイックワイヤレス用USBキーを取り外します。**

クイックワイヤレス用USBキーを取り外したら、無線LANユニットを再び取り付けます。

5 **クイックワイヤレス用USBキーを、お使いのコンピューターに接続します。**

以降はクイックワイヤレス用USBキーに添付の取扱説明書を参照してください。

EasyMP Monitorについて

EasyMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピューターのモニターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

http://www.epson.jp/download/

Message Broadcastingについて

Message BroadcastingはEasyMP Monitor用のプラグインソフトです。

Message Broadcastingを使うと、ネットワーク接続されたすべてのエプソンプロジェクター、または指定したプロジェクターにメッセージ(JPEGファイル)を送信し、投写することができます。

データは手動で送信したり、EasyMP Monitorのタイマー機能を使って自動的に送信することができます。

Message Broadcastingは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

http://www.epson.jp/download/

Webブラウザーを使って設定を変更する(Web制御)

本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザーを利用して、コンピューターから本機の設定や制御が行えます。この機能を使えば、本機と離れた場所から、設定や制御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力できるので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザーは、Internet Explorer8.0以降を使用してください。Mac OS Xをお使いの場合は、Safariを使用してください。

[待機モード]を[通信オン]に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザーを使った設定や制御ができます。

☛ [拡張設定] - [待機モード] p.85

本機の設定

本機の環境設定メニューで設定する項目をWebブラウザー上で設定できます。設定した内容は、環境設定メニューに反映されます。

Webブラウザーで設定できない環境設定メニューの項目

- 設定メニュー - ユーザーボタン
- 拡張設定メニュー - 表示設定 - メニュー表示位置、液晶アライメント、ユニフォーミティー
- 拡張設定メニュー - ユーザーロゴ
- 拡張設定メニュー - 動作設定 - 高地モード、BNC同期終端
- 拡張設定メニュー - 言語
- 初期化メニュー

各メニューの項目の内容は本機の環境設定メニューと同じです。

☛「環境設定メニュー」p.77

Web制御画面を表示する

以下の手順で、Web制御画面を表示します。

コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。

環境設定メニューで[接続モード]を[マニュアルモード]にしてください。

☛ [ネットワーク]-[無線LAN]-[接続モード] p.92

ご使用のWebブラウザーで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、Web制御画面を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

1 **コンピューターでWebブラウザーを起動します。**

2 **Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターのキーボードのEnterキーを押します。**

Web制御画面が表示されます。

プロジェクターの環境設定メニューのネットワークメニューでWeb制御パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。

3 **ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。**

ユーザーIDに「**EPSONWEB**」と入力します。

パスワードの初期設定は「**admin**」です。

- パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。ユーザーIDは変更できません。
- パスワードの変更は、環境設定メニューのネットワークメニューから行ってください。
  ☛ [ネットワーク]-[管理者設定]-[Web制御パスワード] p.98

証明書の設定をする

無線ネットワークの認証に使用する証明書の設定をWebブラウザーで行います。

無線LANのセキュリティー設定に用いるクライアント証明書、CA証明書や、セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインストールします。

1 **Web制御を表示します。**

☛「Web制御画面を表示する」p.145

2 **[ネットワーク]から[管理者設定]-[証明書管理]の順にクリックします。**

3 **証明書管理画面が表示されます。**

サブメニュー名	項目または設定値
クライアント証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間
CA証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間
自己署名証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間

サブメニュー名	項目または設定値
Webサーバー証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間

証明書をインストールするときは、本機に対応した形式であることを確認してください。

☛「サポートする証明書の一覧」p.147

セキュアHTTPについての注意

[ネットワーク]メニューの[管理者設定]で[セキュアHTTP]を[オン]にしたときは、HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを適用します。この機能を用いると、プロジェクターとWebブラウザー間のセキュリティーを強固にできます。

HTTPSプロトコルを用いた通信では、サーバー側の信頼性を証明するために証明書を用います。Webブラウザーから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成して、プロジェクターにインストールします。

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザーから信頼性を検証できないため、Webブラウザーからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。サーバー証明書に比べてセキュリティーは劣りますが、この警告を無視することで通信を継続できます。

サポートする証明書の一覧

クライアント証明書(PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

サーバー証明書(PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-Fast)

項目	説明
対応フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

Webサーバー証明書(セキュアHTTP)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit

項目	説明
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所にいても本機の異常を知ることができます。

☛ ［ネットワーク］-［管理者設定］-［メール通知機能］ p.98

- 送信先（宛先）は最大3つまで登録でき、一括して送ることができます。
- 本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- ［待機モード］を［通信オン］に設定しておくと、本機がスタンバイ状態（電源OFFの状態）でも、制御ができます。
  ☛ ［拡張設定］ - ［待機モード］ p.85

異常通知メールの見方

メール通知機能をオンに設定していて本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

メール差出人：宛先1のアドレス

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す主な内容は以下のとおりです。

- Clean Air Filter（エアフィルター清掃通知）
- Internal error（内部異常）
- Fan related error（ファン異常）
- Sensor error（センサー異常）
- Lamp cover is open.（ランプカバー開放状態）
- Lamp timer failure（ランプ点灯失敗）
- Lamp out（ランプ異常）
- Internal temperature error（内部高温異常/オーバーヒート）
- High-speed cooling in progress（高温警告）
- Lamp replacement notification（ランプ交換勧告）
- Low Air Flow（エアフィルター風量低下）
- Low Air Flow Error（フィルター風量低下異常）
- No-signal（ノーシグナル）
  本機に映像信号が入力されていません。 接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
- Auto Iris Error（オートアイリス異常）
- Power Err.（Ballast）（電源系異常(バラスト)）

異常/警告の対処方法は、以下をご確認ください。

☛「インジケーターの見方」p.106

SNMPを使って管理する

環境設定メニューで[SNMP]を[オン]に設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに異常状態が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している状態でも本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク]-[管理者設定]-[SNMP] p.98

- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使って本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。
- 本機のSNMPエージェントはバージョン1(SNMPv1)に準拠しています。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのかんたんモードでは使用できません。

Web Remote画面を表示する

Web Remote機能では、プロジェクターのリモコンでの操作をWebブラウザーで行うことができます。

1 **Web制御画面を表示します。**

2 **Web Remoteをクリックします。**

3 **Web Remote画面が表示されます。**

❶ **【⏻】ボタン**

本機の電源をオンにします。

❷ **入力切り替えボタン**

☛「リモコンで目的の映像に切り替える」p.42

❸ **【静止】ボタン**

☛「映像を停止させる（静止）」p.64

❹ **【A/Vミュート】ボタン**

☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64

⑤ 【ページ】ボタン
☛「リモコン」p.12
⑥ 【音量】ボタン
⑦ 【入力検出】ボタン
☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41
⑧ 【⏻】ボタン
本機の電源をオフにします。

ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘：’ (3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘：’ を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘：’ を返信します。

主な内容は以下のとおりです。

項目			コマンド
電源のオン/オフ	オン		PWR ON
	オフ		PWR OFF
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	BNC	オート	SOURCE BF
		RGB	SOURCE B1
		コンポーネント	SOURCE B4
	HDMI		SOURCE 30
	ビデオ		SOURCE 41
	S-ビデオ		SOURCE 42
	LAN		SOURCE 53
	DisplayPort		SOURCE 70
	HDBaseT（EB-G6750WUのみ）		SOURCE 80
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン		MUTE ON
	オフ		MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰（CR）コード（0Dh）を追加して送信してください。

詳細やその他のコマンドは以下のWebサイトを参照してください。

http://www.epson.jp/products/download/elp/escvp21_kyodaku.htm

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクター形状：D-Sub 9pin（オス）

- プロジェクター入力端子名：RS-232C

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティー：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

PJLinkについて

JBMIA（社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

本機は、JBMIAが策定したPJLink Class1の規格に適合しています。

PJLinkを使うにはネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については以下をご覧ください。

☛「ネットワークメニュー」p.89

PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL：http://pjlink.jbmia.or.jp/

- **非対応コマンド**

機能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

- **PJLinkで定義している入力名と本機の入力ソースの対応**

入力ソース	PJLinkコマンド
コンピューター	INPT 11
BNC	INPT 13
ビデオ	INPT 21
S-ビデオ	INPT 22
HDMI	INPT 32
DisplayPort	INPT 35

入力ソース	PJLinkコマンド
LAN	INPT 52
HDBaseT	INPT 56（EB-G6750WUのみ）

- 「メーカ名問合せ」で表示するメーカ名
  EPSON

- 「機種情報問合せ」で表示する機種名
  EPSON 6750
  EPSON 6550
  EPSON 6350
  EPSON 6250
  EPSON 6050

Crestron RoomView®について

Crestron RoomView®はCrestron®社が提供する統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視・制御できます。

本機はその制御用プロトコルに対応していますので、Crestron RoomView®で構築されたシステム環境下でご利用いただけます。

Crestron RoomView®の詳細は、Crestron®社のWebページを参照してください。（英語のみの表示となります。）

http://www.crestron.com

Crestron RoomView®の概要は次のとおりです。

- **Webブラウザーを利用した遠隔操作**
  コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。

- **アプリケーションソフトを利用した監視・制御**
  Crestron®社が提供するアプリケーションソフトCrestron RoomView® Express/Crestron RoomView® Server Editionでシステム内の機器の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信を行えます。詳細は以下をご覧ください。
  http://www.crestron.com/getroomview

本書では、Webブラウザーを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

- 文字入力に使用できるのは半角英数字と記号のみです。
- Crestron RoomView®使用中は、以下の機能はご利用になれません。
  ☛ 「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」p.145
  Message Broadcasting（EasyMP Monitorのプラグイン）
- ［待機モード］を［通信オン］に設定しておくと、本機がスタンバイ状態（電源OFFの状態）でも、制御ができます。
  ☛ ［拡張設定］-［待機モード］ p.85

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する

操作画面を表示する

操作の前に以下の点をご確認ください。

- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。

- ［ネットワーク］メニューの［Crestron RoomView］を［オン］に設定してください。
  ☛ ［ネットワーク］-［管理者設定］-［Crestron RoomView］ p.98

1 **コンピューターでWebブラウザーを起動します。**

2 **Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力して、キーボードのEnterキーを押します。**

操作画面が表示されます。

操作画面の使い方

❶ 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。

ボタン	機能
Power	電源をオン/オフします。
Vol-/Vol+	音量の調整を行います。
A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」p.64

❷ クリックした入力ソースの映像に切り替わります。画面に表示されていない入力ソースは(a)、(b)をクリックして上下にスクロールすると表示されます。映像信号が入力されているソースは青色で表示されます。ソース名は任意で変更できます。

❸ 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。画面に表示されていないボタンは(c)、(d)をクリックして左右にスクロールすると表示されます。

ボタン	機能
Freeze	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」p.64
Contrast	映像の明暗の差を調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	[⊕]ボタンをクリックすると、投写サイズを変えずに映像を拡大します。[⊖]ボタンをクリックすると、[⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで拡大表示する位置を移動します。 ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」p.65

❹ [▲][▼][◀][▶]ボタンをクリックするとリモコンの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンと同様の操作を行えます。その他のボタンをクリックすると以下の操作を行えます。

ボタン	機能
OK	リモコンの【↵】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」p.12
Menu	環境設定メニューを表示/終了します。
Auto	Computer入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
Search	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.41
Esc	リモコンの【戻る】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」p.12

❺ 各タブをクリックすると以下の操作を行えます。

タブ	機能
Contact IT Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron RoomView®Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
Info	現在接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行います。次項を参照してください。

Tools画面の使い方

操作画面で**Tools**タブをクリックすると以下の画面が表示されます。現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行えます。

❶ **Crestron Control**
Crestron® の集中制御コントローラーに対する各設定を行います。

❷ **Projector**
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
Projector Name	現在接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を任意に入力します。（半角英数字15文字以内）
Location	現在接続しているプロジェクターの設置場所名を任意で入力します。（半角英数字記号32文字以内）
Assigned To	プロジェクターの利用者名を任意で入力します。（半角英数字記号32文字以内）
DHCP	DHCPを使用するときは、**Enabled**にチェックを入れます。チェックを入れると以降のアドレスの設定はできなくなります。

項目名	機能
IP Address	現在接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
Send	**Projector**で変更した内容を確定するときにクリックします。

❸ **Admin Password**
Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	Tools画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。（半角英数字26文字以内）
Confirm	**New Password**で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	**Admin Password**で変更した内容を確定するときにクリックします。

❹ **User Password**
コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	操作画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。（半角英数字26文字以内）
Confirm	**New Password**で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	**User Password**で変更した内容を確定するときにクリックします。

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション類は2013年3月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション

標準レンズ　ELPLS06
レンズ付きモデルに搭載のレンズです。
短焦点レンズ　ELPLU01
リア用短焦点レンズ　ELPLR03
中焦点レンズ　ELPLM04
中焦点レンズ　ELPLM05
長焦点レンズ　ELPLL06
各レンズの投写距離は、以下を参照してください。
☛「スクリーンサイズと投写距離」p.157

コンピューターケーブル　ELPKC02
（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m）
製品同梱のコンピューターケーブルと同等品です。

コンピューターケーブル　ELPKC09
（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m）
コンピューターケーブル　ELPKC10
（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m）
製品同梱のコンピューターケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

D端子ケーブル　ELPKC22
（ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m）
映像機器のD端子と接続するときに使います。

コンポーネントビデオケーブル　ELPKC19
（ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m）
コンポーネントビデオを投写するときに使います。

リモコンケーブルセット　ELPKC28
（10m、2本セット）
離れたところから確実にリモコンで操作したいときに使います。

ワイヤレスマウスレシーバー　ELPST16
本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作したり、ページ送り/戻しの操作を行えます。

HDBaseTトランスミッター　ELPHD01（EB-G6750WUのみ）
HDMI信号や制御用信号をLANケーブル1本で長距離伝送するための、トランスミッターです。HDBaseT規格に準拠しています。

無線LANユニット　ELPAP07
本機とコンピューターを無線で接続して投写するときに使います。

クイックワイヤレス用USBキー　ELPAP09
本機とWindows搭載のコンピューターを1対1で即接続して投写するときに使います。

書画カメラ　ELPDC11/ELPDC20
書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

パイプ450（450mm）※　ELPFP13
パイプ700（700mm）※　ELPFP14
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

天吊り金具※　ELPMB22
本機を天井に取り付けるときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
☛『お問い合わせ先』

消耗品

交換用ランプ　ELPLP76
使用済みランプと交換します。

エアフィルター　ELPAF43
使用済みエアフィルターと交換します。

EB-G6750WU/EB-G6550WU/EB-G6250W/EB-G6050Wの投写距離表

❶ 投写距離
❷ は、レンズ中心から映像下端までの高さです。上下レンズシフトの設定により変わります。
❸ レンズ中心

標準レンズ ELPLS06

レンズ付きモデルの投写距離はこちらです。

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
50型	102x76	154 ~ 280	-13 ~ +90
60型	122x91	185 ~ 337	-16 ~ +108
70型	142x107	217 ~ 393	-19 ~ +126
80型	163x122	249 ~ 450	-22 ~ +143
100型	203x152	312 ~ 564	-27 ~ +179
150型	305x229	471 ~ 848	-40 ~ +269
200型	406x305	630 ~ 1132	-54 ~ +359
250型	508x381	788 ~ 1415	-67 ~ +448

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
50型	111x62	139 ~ 254	-16 ~ +78
60型	133x75	168 ~ 305	-19 ~ +94
80型	177x100	226 ~ 408	-25 ~ +125
100型	221x125	283 ~ 511	-31 ~ +156
150型	332x187	427 ~ 769	-47 ~ +234
200型	443x249	571 ~ 1027	-63 ~ +312
250型	553x311	715 ~ 1285	-78 ~ +390
290型	642x361	830 ~ 1491	-91 ~ +452

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
50型	108x67	135 ~ 247	-12 ~ +79
60型	130x81	163 ~ 297	-14 ~ +95
80型	172x108	219 ~ 397	-19 ~ +127
100型	215x135	275 ~ 498	-24 ~ +158
150型	323x202	416 ~ 748	-36 ~ +238
200型	431x269	556 ~ 999	-48 ~ +317
250型	538x337	696 ~ 1250	-59 ~ +396
300型	646x404	836 ~ 1501	-71 ~ +475

短焦点レンズ ELPLU01

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
60型	122x91	93 ~ 112	-16 ~ +108
70型	142x107	109 ~ 131	-19 ~ +126
80型	163x122	125 ~ 151	-22 ~ +143
100型	203x152	158 ~ 189	-27 ~ +179
150型	305x229	238 ~ 286	-40 ~ +269
200型	406x305	319 ~ 382	-54 ~ +359
250型	508x381	400 ~ 479	-67 ~ +448

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
60型	133x75	84 ~ 101	-19 ~ +94
80型	177x100	113 ~ 136	-25 ~ +125
100型	221x125	143 ~ 171	-31 ~ +156
150型	332x187	216 ~ 259	-47 ~ +234
200型	443x249	290 ~ 347	-63 ~ +312
250型	553x311	363 ~ 434	-78 ~ +390
290型	642x361	422 ~ 505	-91 ~ +452

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
60型	130x81	81 ~ 98	-14 ~ +95
80型	172x108	110 ~ 132	-19 ~ +127
100型	215x135	139 ~ 167	-24 ~ +158
150型	323x202	210 ~ 252	-36 ~ +238
200型	431x269	282 ~ 337	-48 ~ +317
250型	538x337	353 ~ 423	-59 ~ +396
300型	646x404	425 ~ 508	-71 ~ +475

リア用短焦点レンズ ELPLR03

レンズシフトには対応していません。

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶	❷
50型	102x76	91	+38
60型	122x91	110	+46
70型	142x107	129	+53
80型	163x122	148	+61
100型	203x152	186	+76
150型	305x229	280	+114

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶	❷
50型	111x62	82	+31
60型	133x75	99	+37
80型	177x100	134	+50
100型	221x125	168	+62
150型	332x187	254	+93

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶	❷
50型	108x67	80	+34
60型	130x81	96	+40
80型	172x108	130	+54
100型	215x135	163	+67
150型	323x202	247	+101
200型	431x269	331	+135

中焦点レンズ ELPLM04

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
50型	102x76	275 ~ 421	-13 ~ +90
60型	122x91	332 ~ 507	-16 ~ +108
70型	142x107	389 ~ 593	-19 ~ +126
80型	163x122	446 ~ 679	-22 ~ +143
100型	203x152	560 ~ 851	-27 ~ +179
150型	305x229	844 ~ 1282	-40 ~ +269
200型	406x305	1129 ~ 1713	-54 ~ +359
250型	508x381	1414 ~ 2143	-67 ~ +448

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
50型	111x62	249 ~ 381	-16 ~ +78
60型	133x75	300 ~ 459	-19 ~ +94
80型	177x100	404 ~ 616	-25 ~ +125
100型	221x125	507 ~ 772	-31 ~ +156
150型	332x187	766 ~ 1163	-47 ~ +234
200型	443x249	1024 ~ 1554	-63 ~ +312
250型	553x311	1283 ~ 1945	-78 ~ +390
290型	642x361	1490 ~ 2258	-91 ~ +452

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
50型	108x67	242 ~ 371	-12 ~ +79
60型	130x81	292 ~ 447	-14 ~ +95
80型	172x108	392 ~ 599	-19 ~ +127
100型	215x135	493 ~ 751	-24 ~ +158
150型	323x202	754 ~ 1131	-36 ~ +238
200型	431x269	996 ~ 1512	-48 ~ +317
250型	538x337	1248 ~ 1892	-59 ~ +396
300型	646x404	1499 ~ 2272	-71 ~ +475

中焦点レンズ ELPLM05

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
50型	102x76	410 ~ 631	-13 ~ +90
60型	122x91	496 ~ 760	-16 ~ +108
70型	142x107	581 ~ 890	-19 ~ +126
80型	163x122	667 ~ 1019	-22 ~ +143
100型	203x152	837 ~ 1278	-27 ~ +179
150型	305x229	1264 ~ 1925	-40 ~ +269
200型	406x305	1691 ~ 2572	-54 ~ +359
250型	508x381	2118 ~ 3219	-67 ~ +448

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
50型	111x62	371 ~ 571	-16 ~ +78
60型	133x75	449 ~ 689	-19 ~ +94
80型	177x100	604 ~ 924	-25 ~ +125
100型	221x125	759 ~ 1159	-31 ~ +156
150型	332x187	1146 ~ 1746	-47 ~ +234
200型	443x249	1534 ~ 2334	-63 ~ +312
250型	553x311	1921 ~ 2921	-78 ~ +390
290型	642x361	2231 ~ 3391	-91 ~ +452

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
50型	108x67	361 ~ 555	-12 ~ +79
60型	130x81	436 ~ 670	-14 ~ +95
80型	172x108	587 ~ 898	-19 ~ +127
100型	215x135	738 ~ 1127	-24 ~ +158
150型	323x202	1115 ~ 1699	-36 ~ +238
200型	431x269	1492 ~ 2270	-48 ~ +317
250型	538x337	1869 ~ 2842	-59 ~ +396
300型	646x404	2246 ~ 3414	-71 ~ +475

長焦点レンズ ELPLL06

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
50型	102x76	620 ~ 842	-13 ~ +90
60型	122x91	748 ~ 1015	-16 ~ +108
70型	142x107	876 ~ 1187	-19 ~ +126
80型	163x122	1003 ~ 1359	-22 ~ +143
100型	203x152	1259 ~ 1703	-27 ~ +179
150型	305x229	1897 ~ 2564	-40 ~ +269
200型	406x305	2536 ~ 3425	-54 ~ +359
250型	508x381	3175 ~ 4285	-67 ~ +448

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
50型	111x62	561 ~ 763	-16 ~ +78
60型	133x75	677 ~ 919	-19 ~ +94
80型	177x100	909 ~ 1232	-25 ~ +125
100型	221x125	1141 ~ 1545	-31 ~ +156
150型	332x187	1721 ~ 2326	-47 ~ +234
200型	443x249	2301 ~ 3107	-63 ~ +312
250型	553x311	2880 ~ 3889	-78 ~ +390
290型	642x361	3344 ~ 4514	-91 ~ +452

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
50型	108x67	546 ~ 742	-12 ~ +79
60型	130x81	659 ~ 894	-14 ~ +95
80型	172x108	884 ~ 1198	-19 ~ +127
100型	215x135	1110 ~ 1502	-24 ~ +158
150型	323x202	1674 ~ 2263	-36 ~ +238
200型	431x269	2238 ~ 3023	-48 ~ +317
250型	538x337	2802 ~ 3783	-59 ~ +396
300型	646x404	3366 ~ 4544	-71 ~ +475

EB-G6350の投写距離表

❶ 投写距離
❷ は、レンズ中心から映像下端までの高さです。上下レンズシフトの設定により変わります。
❸ レンズ中心

標準レンズ ELPLS06

レンズ付きモデルの投写距離はこちらです。

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
30型	61x46	76 ~ 141	-3 ~ +49
40型	81x61	103 ~ 189	-5 ~ +66
50型	102x76	130 ~ 238	-6 ~ +82
60型	122x91	157 ~ 286	-7 ~ +98
80型	163x122	211 ~ 383	-9 ~ +131
100型	203x152	265 ~ 479	-12 ~ +164
150型	305x229	400 ~ 721	-17 ~ +246
200型	406x305	535 ~ 963	-23 ~ +328
250型	508x381	670 ~ 1205	-29 ~ +410
300型	610x457	804 ~ 1447	-35 ~ +492

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
28型	62x35	77 ~ 143	-9 ~ +44
30型	66x37	83 ~ 154	-10 ~ +47
40型	89x50	113 ~ 207	-13 ~ +63
50型	111x62	142 ~ 259	-17 ~ +79
60型	133x75	171 ~ 312	-20 ~ +95
80型	177x100	230 ~ 417	-27 ~ +126
100型	221x125	289 ~ 523	-33 ~ +158
150型	332x187	436 ~ 786	-50 ~ +237
200型	443x249	583 ~ 1050	-67 ~ +316

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
250型	553x311	730 ~ 1313	-83 ~ +395
275型	609x342	803 ~ 1445	-92 ~ +434

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
29型	62x39	78 ~ 145	-7 ~ +47
30型	65x40	81 ~ 150	-8 ~ +48
50型	108x67	138 ~ 252	-13 ~ +80
60型	130x81	167 ~ 303	-15 ~ +96
70型	151x94	195 ~ 355	-18 ~ +112
80型	172x108	224 ~ 406	-21 ~ +128
100型	215x135	281 ~ 508	-26 ~ +160
150型	323x202	424 ~ 765	-39 ~ +241
200型	431x269	567 ~ 1021	-51 ~ +321
250型	538x337	710 ~ 1277	-64 ~ +401
280型	603x377	796 ~ 1431	-72 ~ +449

短焦点レンズ ELPLU01

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
60型	122x91	78 ~ 95	-7 ~ +98
80型	163x122	105 ~ 127	-9 ~ +131
100型	203x152	133 ~ 160	-12 ~ +164
150型	305x229	201 ~ 242	-17 ~ +246
200型	406x305	270 ~ 324	-23 ~ +328
250型	508x381	338 ~ 407	-29 ~ +410
300型	610x457	407 ~ 489	-35 ~ +492

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
60型	133x75	85 ~ 103	-20 ~ +95
80型	177x100	115 ~ 139	-27 ~ +126
100型	221x125	145 ~ 175	-33 ~ +158
150型	332x187	220 ~ 264	-50 ~ +237
200型	443x249	294 ~ 354	-67 ~ +316
250型	553x311	369 ~ 443	-83 ~ +395
275型	609x342	407 ~ 489	-92 ~ +435

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
60型	130x81	83 ~ 101	-15 ~ +96
70型	151x94	97 ~ 118	-18 ~ +112
80型	172x108	112 ~ 135	-21 ~ +128

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
100型	215x135	141 ~ 170	-26 ~ +160
150型	323x202	214 ~ 257	-39 ~ +241
200型	431x269	286 ~ 344	-51 ~ +321
250型	538x337	359 ~ 431	-64 ~ +401
283型	610x381	407 ~ 489	-73 ~ +454

リア用短焦点レンズ ELPLR03

レンズシフトには対応していません。

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶	❷
30型	61x46	44	+23
40型	81x61	60	+30
50型	102x76	76	+38
60型	122x91	92	+46
80型	163x122	125	+61
100型	203x152	157	+76
150型	305x229	237	+114
200型	406x305	318	+152

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶	❷
28型	62x35	45	+17
30型	66x37	48	+19
40型	89x50	66	+25
50型	111x62	83	+31
60型	133x75	101	+37
80型	177x100	136	+50
100型	221x125	171	+62
150型	332x187	259	+93
184型	407x229	318	+114

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶	❷
29型	62x39	45	+20
30型	65x40	47	+20
50型	108x67	81	+34
60型	130x81	98	+40
70型	151x94	115	+47
80型	172x108	132	+54
100型	215x135	166	+67
150型	323x202	252	+101
189型	407x254	318	+127

中焦点レンズ ELPLM04

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
40型	81x61	184 ~ 283	-5 ~ +66
50型	102x76	232 ~ 357	-6 ~ +82
60型	122x91	281 ~ 430	-7 ~ +98

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
80型	163x122	378 ~ 577	-9 ~ +131
100型	203x152	475 ~ 723	-12 ~ +164
150型	305x229	717 ~ 1090	-17 ~ +246
200型	406x305	959 ~ 1456	-23 ~ +328
250型	508x381	1202 ~ 1823	-29 ~ +410
300型	610x457	1444 ~ 2190	-35 ~ +492

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
37型	82x46	184 ~ 283	-12 ~ +58
40型	89x50	201 ~ 310	-13 ~ +63
50型	111x62	254 ~ 390	-17 ~ +79
60型	133x75	307 ~ 469	-20 ~ +95
80型	177x100	412 ~ 629	-27 ~ +126
100型	221x125	518 ~ 789	-33 ~ +158
150型	332x187	782 ~ 1188	-50 ~ +237
200型	443x249	1046 ~ 1588	-67 ~ +316
250型	553x311	1310 ~ 1987	-83 ~ +395
275型	609x342	1444 ~ 2189	-92 ~ +435

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
38型	82x51	184 ~ 284	-10 ~ +61
50型	108x67	247 ~ 379	-13 ~ +80
60型	130x81	298 ~ 456	-15 ~ +96
70型	151x94	350 ~ 534	-18 ~ +112
80型	172x108	401 ~ 612	-21 ~ +128
100型	215x135	504 ~ 767	-26 ~ +160
150型	323x202	761 ~ 1156	-39 ~ +241
200型	431x269	1017 ~ 1544	-51 ~ +321
250型	538x337	1274 ~ 1933	-64 ~ +401
283型	610x381	1444 ~ 2189	-73 ~ +454

中焦点レンズ ELPLM05

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
40型	81x61	274 ~ 424	-5 ~ +66
50型	102x76	347 ~ 535	-6 ~ +82
60型	122x91	419 ~ 645	-7 ~ +98
80型	163x122	565 ~ 865	-9 ~ +131
100型	203x152	710 ~ 1086	-12 ~ +164
150型	305x229	1073 ~ 1637	-17 ~ +246
200型	406x305	1436 ~ 2188	-23 ~ +328
250型	508x381	1799 ~ 2738	-29 ~ +410

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
300型	610x457	2162 ~ 3289	-35 ~ +492

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
37型	82x46	274 ~ 424	-12 ~ +58
40型	89x50	300 ~ 464	-13 ~ +63
50型	111x62	379 ~ 584	-17 ~ +79
60型	133x75	458 ~ 704	-20 ~ +95
80型	177x100	617 ~ 944	-27 ~ +126
100型	221x125	775 ~ 1184	-33 ~ +158
150型	332x187	1170 ~ 1784	-50 ~ +237
200型	443x249	1566 ~ 2385	-67 ~ +316
250型	553x311	1962 ~ 2985	-83 ~ +395
275型	609x342	2162 ~ 3289	-92 ~ +435

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
38型	82x51	274 ~ 424	-10 ~ +61
50型	108x67	368 ~ 568	-13 ~ +80
60型	130x81	445 ~ 685	-15 ~ +96
70型	151x94	522 ~ 801	-18 ~ +112
80型	172x108	599 ~ 918	-21 ~ +128

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
100型	215x135	753 ~ 1152	-26 ~ +160
150型	323x202	1138 ~ 1736	-39 ~ +241
200型	431x269	1523 ~ 2320	-51 ~ +321
250型	538x337	1908 ~ 2904	-64 ~ +401
283型	610x381	2162 ~ 3289	-73 ~ +454

長焦点レンズ ELPLL06

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト 最上～最下
40型	81x61	416 ~ 568	-5 ~ +66
50型	102x76	525 ~ 714	-6 ~ +82
60型	122x91	634 ~ 861	-7 ~ +98
80型	163x122	851 ~ 1154	-9 ~ +131
100型	203x152	1068 ~ 1447	-12 ~ +164
150型	305x229	1612 ~ 2179	-17 ~ +246
200型	406x305	2155 ~ 2912	-23 ~ +328
250型	508x381	2699 ~ 3644	-29 ~ +410
300型	610x457	3242 ~ 4376	-35 ~ +492

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
37型	82x46	416 ~ 568	-12 ~ +58
40型	89x50	455 ~ 620	-13 ~ +63
50型	111x62	574 ~ 780	-17 ~ +79
60型	133x75	692 ~ 939	-20 ~ +95
80型	177x100	929 ~ 1259	-27 ~ +126
100型	221x125	1166 ~ 1578	-33 ~ +158
150型	332x187	1758 ~ 2376	-50 ~ +237
200型	443x249	2350 ~ 3174	-67 ~ +316
250型	553x311	2942 ~ 3972	-83 ~ +395
275型	609x342	3242 ~ 4376	-92 ~ +435

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
38型	82x51	416 ~ 568	-10 ~ +61
50型	108x67	558 ~ 758	-13 ~ +80
60型	130x81	673 ~ 913	-15 ~ +96
70型	151x94	788 ~ 1069	-18 ~ +112
80型	172x108	903 ~ 1224	-21 ~ +128
100型	215x135	1134 ~ 1535	-26 ~ +160
150型	323x202	1710 ~ 2311	-39 ~ +241
200型	431x269	2286 ~ 3087	-51 ~ +321
250型	538x337	2862 ~ 3864	-64 ~ +401

16:10スクリーンサイズ		❶ 最短(ワイド)～最長(テレ)	❷ 上下レンズシフト最上～最下
283型	610x381	3242 ~ 4376	-73 ~ +454

対応解像度

コンピューター映像(アナログRGB)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1366x768
	60/75/85	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900
WXGA++	60	1600x900
SXGA	70/75/85	1152x864
	60/75/85	1280x1024
	60/75/85	1280x960
SXGA+	60/75	1400x1050
WSXGA+※1	60	1680x1050
UXGA	60	1600x1200
WUXGA※2	60	1920x1200
MAC13"	67	640x480
MAC16"	75	832x624
MAC19"	75	1024x768
	59	1024x768
MAC21"	75	1152x870

※1 環境設定メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときに限り対応します。(EB-G6350は対応していません。)

※2 EB-G6750WU/EB-G6550WUのみ。VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)※	50/60	1920x1080

※ EB-G6750WU/EB-G6550WUのみ

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV(NTSC)	60	720x480
TV(SECAM)	50	720x576
TV(PAL)	50/60	720x576

HDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの入力信号（EB-G6750WU/EB-G6550WU/EB-G6250W/EB-G6050W）

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
VGA	60	640x480
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
	60	1280x768※1
	60	1366x768
WXGA+	60	1440x900
WXGA++	60	1600x900
WSXGA+	60	1680x1050
SXGA	60	1280x960
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
WUXGA※2	60	1920x1200
SDTV（480i※3/480p）	60	720x480
SDTV（576i※3/576p）	50	720x576
HDTV（720p）	50/60	1280x720
HDTV（1080i）	50/60	1920x1080
HDTV（1080p）	24※3/30※3/50/60	1920x1080

※1 DisplayPort 入力時のみ
※2 EB-G6750WU/EB-G6550WUのみ。VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応。
※3 HDMI入力時のみ

HDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの入力信号（EB-G6350）

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）
VGA	60	640x480
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
	60	1280x768※1
	60	1366x768※2
WXGA+	60	1440x900
WXGA++	60	1600x900
SXGA	60	1280x960
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
SDTV（480i※2/480p）	60	720x480
SDTV（576i※2/576p）	50	720x576
HDTV（720p）	50/60	1280x720
HDTV（1080i）	50/60	1920x1080
HDTV（1080p）	24※2/30※2/50/60	1920x1080

※1 DisplayPort 入力時のみ
※2 HDMI 入力時のみ

本機仕様

商品名		EB-G6750WU	EB-G6550WU	EB-G6350	EB-G6250W	EB-G6050W
外形サイズ		幅505x高さ144x奥行き382mm（突起部含まず）				
液晶パネルサイズ		0.76型ワイド		0.79型	0.76型ワイド	
表示方式		ポリシリコンTFT アクティブマトリクス				
画素数		2,304,000個 WUXGA（横1920x縦1200ドット）x3		786,432個 XGA（横1024x縦768ドット）x3	1,024,000個 WXGA（横1280x縦800ドット）x3	
フォーカス調整		手動				
ズーム調整※1		手動（1-1.8）				
レンズシフト※2		手動（上下方向最大約67%、左右方向最大約30%）		手動（上下方向最大約57%、左右方向最大約30%）	手動（上下方向最大約67%、左右方向最大約30%）	
ランプ		UHEランプ 定格380W 型番：ELPLP76				
音声最大出力		10W モノラル				
スピーカー		1個				
電源		100-240V AC±10% 50/60Hz 5.7-2.5A	100-240V AC±10% 50/60Hz 5.3-2.3A	100-240V AC±10% 50/60Hz 5.7-2.5A		100-240V AC±10% 50/60Hz 5.0-2.2A
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：568W 待機時消費電力（通信オン）：2.8W 待機時消費電力（通信オフ）：0.31W	定格消費電力：528W 待機時消費電力（通信オン）：2.8W 待機時消費電力（通信オフ）：0.31W	定格消費電力：568W 待機時消費電力（通信オン）：2.8W 待機時消費電力（通信オフ）：0.31W		定格消費電力：498W 待機時消費電力（通信オン）：2.8W 待機時消費電力（通信オフ）：0.31W
	220-240Vエリア	定格消費電力：542W 待機時消費電力（通信オン）：3.3W 待機時消費電力（通信オフ）：0.41W	定格消費電力：504W 待機時消費電力（通信オン）：3.3W 待機時消費電力（通信オフ）：0.41W	定格消費電力：542W 待機時消費電力（通信オン）：3.3W 待機時消費電力（通信オフ）：0.41W		定格消費電力：477W 待機時消費電力（通信オン）：3.3W 待機時消費電力（通信オフ）：0.41W
動作高度		標高 0～3048m				

動作温度範囲	0～+45℃※3（結露しないこと）				
保存温度範囲	-10～+60℃（結露しないこと）				
質量	約9.7kg	約9.7kg	約9.7kg	約9.7kg	約9.7kg

※1 標準レンズを装着しているときの仕様です。
※2 リア用短焦点レンズ ELPLR03はレンズシフトに対応していません。
※3 標高0m～1499mの環境で、節電モードをオンまたは温度感知モードに設定しているときは0～+45℃、オフに設定しているときは0～+40℃。
標高1500m～3048mの環境で、節電モードをオンまたは温度感知モードに設定しているときは0～+40℃、オフに設定しているときは0～+35℃。

商品名			EB-G6750WU	EB-G6550WU	EB-G6350	EB-G6250W	EB-G6050W
接続端子	Computer入力端子	1系統	ミニD-Sub　15pin（メス）青				
	Audio1入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック（3.5Φ）				
	BNC入力端子	1系統	5BNC（メス）				
	Audio2入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック（3.5Φ）				
	DisplayPort入力端子	1系統	DisplayPort				
	HDMI入力端子	1系統	HDMI　HDCP対応（音声はPCMのみに対応）				
	Audio3入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック（3.5Φ）				
	S-Video入力端子	1系統	ミニDIN　4pin				
	Video入力端子	1系統	RCAピンジャック				
	Audio-L/R入力端子	1系統	RCAピンジャック×2(L-R)				
	Audio　Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック（3.5Φ）				
	Monitor　Out端子	1系統	ミニD-Sub　15pin（メス）黒				
	HDBaseT端子	1系統	RJ-45	-			
	LAN端子	1系統	RJ-45				
	Service端子※	1系統	ミニUSBコネクター（Bタイプ）				
	RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub　9pin（オス）				
	Remote端子	1系統	ステレオミニピンジャック（3.5Φ）				
	USB端子（無線LANユニット専用）※	1系統	USBコネクター（Aタイプ）				

※ USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

単位：mm

❶ レンズ中心
❷ レンズ中心から天吊り固定部までの寸法

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。 詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。 詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicineの略称です。医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
HDBaseT	HDBaseT Alliance で策定された家電製品向けの接続規格です。無圧縮のHD動画や音声、100BASE-TXイーサーネット、などのさまざまな制御信号をLANケーブルで通信できます。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子、DisplayPort入力端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) • 画面のアスペクト比は16:9
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。 接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
WPS(Wi-Fi Protected Setup)	Wi-Fi Allianceで無線LANの設定や暗号化が簡単にできるように策定した規格です。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
アドホックモード	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行う方式です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。

インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスク▶▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。 この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号(Y)や青色差信号(CbまたはPb)と赤色差信号(CrまたはPr)に分離して伝送する方式です。
コンポジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。 信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。 信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。 トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレス▶▶のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標と著作権について

Mac、Mac OSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

本製品は、RSA Security Inc.のRSA, BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国および他の国における登録商標です。

WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

The DisplayPort Certified Logo and DisplayPort Icons are Registered Trademarks of the Video Electronics Standards Association (VESA).

The word DisplayPort is a Registered Trademark of VESA in various countries around the world.

HDBaseT™ and the HDBaseT Alliance logo are trademarks of the HDBaseT Alliance.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2013. All rights reserved.

数字・アルファベット

2画面 84
2画面設定 61
3D設定 83
A/V Mute 11
A/V出力設定 88
A/Vミュート 64
AMX Device Discovery 98
Audio Out入力端子 10
Audio1入力端子 9
Audio2入力端子 9
Audio3入力端子 10
Audio-L/R入力端子 9
BNC同期終端 87
BNC入力端子 9
Bonjour 99
CA証明書 100
Computer入力端子 9
Crestron RoomView 99, 152
DHCP 97
DICOM SIM 46
DisplayPort入力端子 10
EasyMP Monitor 145
Esc 11
ESC/VP21 150
Eズーム 65
HDBaseT設定 88
HDBaseT端子 10
HDMI入力端子 10
IPアドレス 97
Menu 12
Message Broadcasting 99, 145
Monitor Out入力端子 10
PJLink 151
PJLinkパスワード 98
Quick Corner 84
Remote端子 9
RoomView 152
RS-232C端子 9
SMTPサーバー 99
SNMP 149
SNMPメニュー 101
Source Search 11
sRGB 46
S-Video入力端子 10
Video入力端子 10
Web Remote 149
Webサーバー証明書 100
WPA/WPA2-EAP 96
WPA/WPA2-PSK 95

ア

明るさ 81
明るさレベル 88
アクセスポイント検索 94
アスペクト 47, 84
色合い 82
色の濃さ 82
インジケーター 106, 107
Web制御 145
Web制御パスワード 98
Webブラウザー 145
エアフィルター・吸気口の掃除 125
エアフィルター清掃通知 86
エアフィルターの交換時期 131
エアフィルターの交換方法 131
映像処理 84
映像メニュー 82
液晶アライメント 86
エッジブレンディング 56, 88
オートアイリス 82
オーバースキャン 84
オーバーヒート 108
オプション品 156
温度インジケーター 106
音量 85

カ

解像度 168
拡張設定メニュー 85
確認音 87
各部の名称と働き 8
画質調整メニュー 81
画面サイズ 62
カラー調整 82
カラーモード 46, 81
環境設定メニュー 78
管理者設定メニュー 98
管理者パスワード 98
幾何学補正 84
起動時入力検出 87
基本設定メニュー 91
クイックワイヤレス用USBキー 143
クライアント証明書 100
ゲートウェイアドレス 93, 97
言語 88
高地モード 87
故障かなと思ったら 106
コントラスト 81

サ

サブネットマスク 97
左右画面入替 62
左右レンズシフトダイヤル 8
シアター 46
自己署名証明書 100
自動調整 83
シャープネス 82
仕様一覧 170
上下レンズシフトダイヤル 8
状態インジケーター 8
情報メニュー 102
証明書 146
証明書管理メニュー 100
消耗品 156
書画カメラ 156
初期化メニュー 102
ズームリング 8
スクリーンサイズ 157
スクリーン設定 22, 86
スケジュール 69
スケジュール設定画面へ 88
スタートアップスクリーン 86
スポーツ 46
スリープモード 87
静止 64
セキュアHTTP 98
セキュリティーメニュー 94
絶対色温度 82
設置角度 86
設置条件 20
設置モード 86
設定メニュー 84
節電モード 85
全初期化 102
全ロック 74
操作パネル 11
操作ボタンロック 85
掃除 125
ソフトキーボード 90

タ

ターゲットスコープ 65
対応解像度 168
待機モード 88
ダイナミック 46
ダイレクトパワーオン 87
タテヨコ補正 84
通知イベントの指定 100
通知メールアドレス1/2/3 99
テストパターン 23, 85
電源端子 9
電源投入時 72
電池の交換方法 14
天吊り 86
天吊り固定部 11
問い合わせコード 74
同期 83
同期情報 102
動作温度範囲 171
動作設定 87
投写距離 157
投写レンズ 16
トラッキング 83
トラップIPアドレス1/2 101

ナ

入力解像度 83, 102
入力検出 41
入力信号 102
入力信号方式 83
入力ソース 61, 102
ネットワーク情報 89
ネットワーク設定画面 90
ネットワークプロジェクターへの接続 142
ネットワークホスト名 98
ネットワークメニュー 89
ノイズリダクション 83

ハ

排気口 8
背景表示 86
パスワードプロテクト 72
パワーインジケーター 106
日付＆時刻 87
ビデオ信号方式 84, 102
ビデオレベル 83
表示位置 83
表示設定 86
表示倍率変更 84
フィルターインジケーター 106
フォーカスリング 8
フォト 46
フレーム補間 83
プレゼンテーション 46
プログレッシブ変換 83
プロジェクターID 28
プロジェクターキーワード 92

プロジェクターの設定 145
プロジェクター名 91
フロント 86
フロントフット 10
ヘルプ機能 105
方向ボタン反転 87
ポート番号 99
保存温度範囲 171
ボリュームボタン 11
本機の掃除 125

マ

マルチスクリーン 88
マルチプロジェクション 46, 88
無線LAN電源 92
無線LANメニュー 92
メール通知機能 99, 148
メール通知機能メニュー 99
メールの見方 148
メッセージ表示 86
メニュー 78
メニュー表示位置 86
メモリー 85
メモリー初期化 103
モスキートNR 83
Monitorパスワード 98

ヤ

ユーザーボタン 85
ユーザーロゴ 66
ユーザーロゴ保護 72
有線LANメニュー 97
優先ゲートウェイ 98
ユニフォーミティー 86

ラ

ランプインジケーター 106
ランプカバー 9
ランプ点灯時間 102
ランプ点灯時間の初期化 103, 131
ランプの交換時期 128
ランプの交換方法 129
リア 86
リアフット 10
リフレッシュレート 102
リモコン 12
リモコンID 28
リモコン受光部 8
リモコンボタンロック 75
レンズシフト 24
レンズシフトダイヤルロック 8
レンズタイプ 87
レンズユニット取り外しボタン 8